

目次

1	新設組織の概要	2
(1)	新設組織の概要	2
(2)	新設組織の特色	2
①	教育学部学校教育課程	2
②	経済情報学部経済情報学科	3
2	人材需要の社会的動向等	4
(1)	新設組織で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析	4
①	教育学部学校教育課程	4
②	経済情報学部経済情報学科	5
(2)	中長期的な18歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析	6
①	教育学部学校教育課程及び経済情報学部経済情報学科	6
(3)	新設組織の主な学生募集地域	6
教育学部学校教育課程及び経済情報学部経済情報学科		6
(4)	既設組織の定員充足の状況	8
①	教育学部学校教育課程	8
②	経済情報学部経済情報学科	8
3	学生確保の見通し	9
(1)	学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果	9
①	教育学部学校教育課程	9
②	経済情報学部経済情報学科	14
(2)	競合校の状況分析（立地条件、養成人材、教育内容と方法の類似性と定員充足状況）	19
①	教育学部学校教育課程	19
②	経済情報学部経済情報学科	25
(3)	先行事例分析	31
(4)	学生確保に関するアンケート調査	31
①	教育学部学校教育課程	31
②	経済情報学部経済情報学科	32
(5)	人材需要に関するアンケート調査等	32
①	教育学部学校教育課程	32
②	経済情報学部経済情報学科	33
4	新設組織の定員設定の理由 ※定員設定の合理性	34
(1)	教育学部学校教育課程	34
(2)	経済情報学部経済情報学科	34

学生の確保の見通しと学生確保に向けた取組を記載した書類

1 新設組織の概要

(1) 新設組織の概要

新設組織	入学定員	3年次 編入学定員	収容定員	所在地所在地 (教育研究を行うキャンパス)
岐阜聖徳学園大学 教育学部学校教育課程	350	—	1,400	岐阜県岐阜市柳津町高桑西一丁目1番地
岐阜聖徳学園大学 経済情報学部経済情報学科	180	—	720	岐阜県岐阜市中鶉一丁目38番地

(2) 新設組織の特色

①教育学部学校教育課程

収容定員を変更しようとする教育学部学校教育課程（学位の分野：教育学）の養成する人材は、次のとおりである。

教育学部学校教育課程

教育学部学校教育課程は、建学の精神にのっとり、教職に対する強い情熱をもち教師力、人間力を備えた義務教育教員の養成を目指す。

養成する人材を踏まえ、今回申請する教育学部学校教育課程は、次のような特徴を有する。

今回申請の教育学部学校教育課程は、昭和47年に設置以来、教職に対する強い情熱をもち教師力、人間力を備えた義務教育教員の養成を人材養成の目的とし教育研究を行ってきた。

学部共通専門科目として、学生に教育現場での体験を促す『教職体験科目』と、学生主導による自主的かつ創造的活動を評価する『子ども理解科目』の2つの柱から構成される本学独自の教育プログラムである『クリスタルプラン』を柱として、4年間を通じた豊富な現場体験に基づく理論と実践の往還によって、子どもの成長や発達を深く理解し、探究的な学びに導くことができる教育・保育のスペシャリストを目指している。

令和7年度4月には、従前の保育専修を保育初等教育専修に発展させ、幼児期から小学校以降の一人ひとりの学びを連続して支える幼保小の架け橋を担う保育者・教師を養成【資料① 学びや生活の基盤をつくる幼児教育と小学校教育の接続について_文部科学省】することに加え、幼稚園教諭一種免許状及び小学校教諭一種免許状を取得した上で「保育体験演習」「遊び学」「幼保小連携研究」からなる『幼保小架け橋科目』を整備し、修得した学生に対し、本学の独自資格『幼保小架け橋ティーチャー』として認定、オープンバッジを授与し、その学修成果を可視化する。

また、文部科学省数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）に認定された全学必修の教養基礎科目である「データサイエンス入門」や、探究を通して論理的思考力、批判的思考力、表現力等を醸成する「教育DX・探究Ⅰ,Ⅱ」、「教育の方法と技術（情報通信技術の活用含む）」、「デジタ

ル・シティズンシップ論」を含む『教育DX・探究科目』を整備し、教育現場でのICT活用指導力等を学び、各教科の授業や生徒指導、学級経営等において、デジタル技術を活用し、新しい教育を探究し、創造し、教育をよりよく変革する（DX：デジタルトランスフォーメーション）ができる力を養成する。【資料② 教育データ利活用の実現に向けた実効的な方策について（議論のまとめ）_令和6年3月 教育データの利活用に関する有識者会議】学生に教育現場で体験を促す『教職体験科目』と、学生主導による自主的かつ創造的活動を評価する『子ども理解科目』の2つの柱に、デジタル技術を用いた教育改革力を養成する『教育DX・探究科目』が有機的に結びつき、深い学びを生み出すカリキュラムとしている。

教育学部学校教育課程は、入学定員を350（変更前の入学定員は330）人とし、国語専修、社会専修、数学専修、理科専修、音楽専修、体育専修、英語専修、保育初等教育専修、特別支援教育支援専修、学校心理専修の10専修を設ける。それぞれの専修では、各専門に応じた高等学校教諭一種免許状、中学校教諭一種免許状、小学校教諭一種免許状、幼稚園教諭一種免許状（保育初等専修は、小学校教諭一種免許状、幼稚園教諭一種免許状、保育士証、特別支援教育専修は、先述の免許状に追加して特別支援学校一種免許状（知的障害、肢体不自由者、病弱者）が取得可能である。

②経済情報学部経済情報学科

収容定員を変更しようとする経済情報学部経済情報学科（学位の分野：経済学）の養成する人材は、次のとおりである。

経済情報学部経済情報学科

経済情報学部経済情報学科は、建学の精神にのっとり、社会で役立つ実践的な経済、経営、情報分野の教育を行い、主体性・企画力・コミュニケーション能力等に富んだ有能な人材の育成を目指す。

養成する人材を踏まえ、今回申請する経済情報学部経済情報学科は、次のような特徴を有する。

経済情報学部経済情報学科は、平成10年に設置以来、経済学を柱として、経営・情報の分野も学生の興味や必要に応じバランスよく学べるカリキュラムを展開してきた。

経済分野では、「マクロ経済学入門」「ミクロ経済学入門」を入門として「経済史」「現代経済」「経済統計」等を通じた経済の基礎と現代経済の知識の獲得に加え「実験経済学Ⅰ，Ⅱ」「行動経済学Ⅰ，Ⅱ」等、経済学に心理学的観察を用いた新しい学びを展開している。

経営分野では、「経営学総論Ⅰ，Ⅱ」を入門として「経営戦略論Ⅰ，Ⅱ」「マーケティング論」等を通じた経済と企業活動の関係を考察する能力の獲得に加え、「ベンチャー企業論」「事業経営入門」「アントレプレナーシップ論」等の科目により、クリティカルシンキングやデザイン思考を養い『不確実性の時代』とされる現代社会において地域社会のイノベーションと持続可能性に寄与することを目指している。

情報分野では、「コンピュータ科学基礎」を入門として「ウェブプログラミングⅠ，Ⅱ」「AI実践演習Ⅰ，Ⅱ」等を通じた現代社会で必要な情報活用の基本と技術の獲得に加え、文部科学省数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）に認定された全学必修の教養基礎科目「データサイエンス入門」、更に、令和6年度から応用基礎レベルに対応した複数の科目からなる独自の教育プログラムを展開している。なお、応用基礎レベルについては、令和7年4月に認定申請を予定している。

また、「キャリアデザインⅠ～Ⅶ」の豊富なキャリア教育科目の中で、地元企業や団体から特別講師を招き、その企業が抱える課題に対する解決策の提案から実施までを経験する実践体験型のPBLを展開し、「国際経済学」「国際金融論」「グローバルマネジメント」等の科目、また「外国語文化事情ⅠA,ⅠB,ⅡA,ⅡB」「経済情報のための英語Ⅰ,Ⅱ」科目による海外の文化やビジネス体験を通じて、国際性を養い、地域社会のグローカリゼーションへの活用を目指している。

経済情報学部経済情報学科は、入学定員を180（変更前の入学定員は150）人とし、高等学校教諭第一種免許状（商業、情報、公民）を取得することができる。

2 人材需要の社会的動向等

（1）新設組織で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析

①教育学部学校教育課程

今回申請の教育学部学校教育課程は、教職に対する強い情熱をもち、教師力と人間力を備えた義務教育教員の養成を人材養成の目的とし教育研究を行っている。令和7年度からは、更に、従前の保育専修を保育初等教育専修へと発展させ、幼保小の架け橋人材を育成、また、学部共通の取組である『教育DX科目』によって教育DXを牽引する人材を育成する等、教育プログラムを強化する。

本学部の卒業生の就職先として約9割を占める学校教員に係る全国的、地域的、社会的動向については【資料③ 「教師不足」に関する実態調査_文部科学省】が示すとおり全国的に不足が認められている。本学出身者の8割が就職している岐阜県・愛知県地域においても十分に満たされている状況になく、その対応として【資料④ 「令和の日本型教育」を担う質の高い教師の確保のための環境整備に関する総合的な方策について（答申）（概要）_文部科学省】が示すように『主体的・対話的な学び』『個別最適な学び』『協働的な学び』の一体的充実のための質の高い教師の確保のため、教師の処遇改善等、環境整備の方策について議論されているところである。また、【資料① 学びや生活の基盤をつくる幼児教育と小学校教育の接続について_文部科学省】において、子どもの発達の段階における幼児教育施設と小学校の架け橋期教育の充実が必要として、幼児教育施設においては、小学校教育を見通して『主体的・対話的で深い学び』等に向けた資質・能力を育み、小学校においては、幼児教育施設で育まれた資質・能力を踏まえて教育活動を実施することが求められている。

また、【資料④ 「令和の日本型教育」を担う質の高い教師の確保のための環境整備に関する総合的な方策について（答申）（概要）_文部科学省】においては、学校における働き方改革として、教育現場でのICT活用による業務効率化を推進することを挙げており、今後の改革の更なる加速化を求めている。

本学部の卒業生の進路を過去3年間の平均でみると、進学・留学・卒業延期を除いた就職率が、99.7%である。就職者を100%として就職先の所在地を都道府県別にみると、本学所在地である岐阜県が2番目の37.6%、最多は隣県の愛知県で44.2%、3番目に東京都が3.4%、4番目に神奈川県が3.1%と、東海の2県と首都が約8割を占め、あとは各都道府県に点在することがわかる。業界及び職種の傾向については教育（学校教育）、医療・福祉（保育）、教育（学修支援業・その他）が9割以上を占めている。【資料⑤ 基礎となる学部（教育学部）の進路の状況】

また、【資料⑥ 教員採用選考試験の実施状況】によると、岐阜県では、令和3～5年の3年間にあって、小学校教員の受験者数、採用者数ともに減少傾向となっており、競争倍率は平均で1.9倍となってい

る。愛知県では、同3年間に於いて受験者数は減少傾向だが採用者数は増加傾向にあり、競争倍率は平均で2.6倍となっている。名古屋市では、同3年間に於いて受験者数は減少傾向、採用者数は増加傾向にあり、競争倍率は平均で3.0倍となっている。以上のことから、所在地域の教員採用状況は易化している状況にあることが窺える。

②経済情報学部経済情報学科

今回申請の経済情報学部は、先述のとおり、経済・経営・情報の分野の基礎的知識から、その活用まで、多様な学生の学習ニーズに対応したカリキュラムを展開している。

経済学は、社会科学の中において、国際化（国際的標準化）の著しい専門分野であり、理論経済学と計量経済学の分野は言語、教育、研究、評価等の点で国際化が進んでいる。ゲーム理論、数理経済学等の一部の領域では、日本の研究者群が高い国際競争力がある学問分野である。後述の人材需要においても、社会科学分野の産業別就職者数は全体の4割弱と高く、経済学を学び、論理的思考力や読解力を身に付けることは現代社会において必要であると考えられる。

経営分野においては、【資料⑦ アントレプレナーシップ教育の現状について_文部科学省】<持続的、発展的なアントレプレナーシップ教育の実現に向けた教育ネットワークや基盤的教育プログラム等のプラットフォーム形成に係る調査・分析_有限責任監査法人トーマツ>によると、令和2年度調査時点でアントレプレナーシップ教育を実施する大学は3割を下回っていること、また、<アントレプレナーシップ教育の全体像>により、学士課程の中で、社会課題を自分事として捉え、課題の発見力や共感力を育むことを入り口に、不確実性の高い環境下でも自身の持つ資源を超えて機会を追求し未来創造や課題解決に向けた行動を起こしていくための精神と態度を学ぶ場や機会を提供することが望まれていることから、本学部では、アントレプレナーシップに関する科目を充実させ、こうした社会的需要に対応する。

情報分野においては、【資料⑧ AI戦略 2022（別紙抜粋含む）_内閣府】によると、AI時代に対応した人内を育成・（吸引）することが戦略目標の1つに掲げられており、その取り組みとして学士課程（約50万人／年）において初級レベルの数理・データサイエンス・AIを習得すること、一定規模の大学等（約25万人／年）が、自らの専門分野への数理・データサイエンス・AIの応用基礎力を習得することを掲げている。本学経済情報学部では既に、令和4年度に文部科学省数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）に認定された教育プログラムを整備しており、令和6年度から応用基礎レベルに対応したプログラムを展開し、この社会的需要に対応している。更に、令和7年4月に同プログラムの応用基礎レベルに申請を予定している。

また、経済情報学部の卒業生の進路を過去3年間の平均でみると、進学・留学・卒業延期等を除いた就職率が97.8%である。就職者100%として就職先の所在地を都道府県別にみると、本学所在地である岐阜県が最多の40.5%、次点に隣県の愛知県が24.2%、3番目に東京が14.3%と、東海の2県と首都が約8割を占め、残りは各都道府県に点在する。業界及び職種の傾向としては、製造業・卸売業・小売業を中心とした総合職や営業職が多い。次いで情報通信業、サービス業、公務員が続き、その他建設業、運輸業・郵便業、金融業・保険業、医療・福祉など多岐にわたっている。このように地元に着目した多様な業界に向けて若手人材の提供を堅持しつつ、首都圏に拠点を置く規模の企業にも活躍人材を輩出している。【資料⑨ 基礎となる学部（経済情報学部）の進路の状況】

上述の主要地域である岐阜県では、少子高齢化や人口減少、進学による県外流出等による県内企業の

人材不足等の課題から、県内就職の促進やデジタル人材の育成を求めている。【資料⑩ 岐阜県経済・雇用再生戦略】経済情報学部の在学生の7割以上が岐阜県内に在住していること、また、就職先都道府県の割合が4割を超えていることから、所在県の経済・雇用の方針とも合致している。

(2) 中長期的な18歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析

①教育学部学校教育課程及び経済情報学部経済情報学科

リクルート進学総研が発表した学校基本調査に基づく18歳人口の動態及び大学進学率・地元残留率(自県内の大学入学者数のうち自県内の高校出身者の割合)によると、全国の18歳人口予測は2023年を基準として109.7万人から翌年106.3万人に減少し、2035年には100万人を切る見込みである。【資料⑪ (全国版)18歳人口予測 大学・短期大学・専門学校進学率 地元残留率の動向 ※抜粋】また、過去10年の地域間の人口流動は地域によって様々であり、本学が所在する岐阜県においては、岐阜県で2013年から2023年にかけて48.4%から50.2%まで上昇しており、地元において安定した進学傾向がある。【資料⑫ (東海版)18歳人口予測大学・短期大学・専門学校進学率地元残留率の動向】

なお、各都道府県の人口減に対して大学進学率は増加傾向にあり、【資料⑬ 過去3年間の学校基本調査における卒業後の状況調査(高等学校 全日制・定時制)】によれば、全国の大学進学率は令和4年度59.5%、令和5年度60.8%、令和6年度62.3%となっている。都道府県別に大学進学率をみると、本学が所在する岐阜県において令和4年度59.1%(10,003名)、令和5年度60.0%(9,681名)、令和6年度61.2%(9,504名)と増加しており、本学学生の出身地で大半を占める愛知県においても、令和4年度61.8%(37,597名)、令和5年度62.8%(37,512名)、令和6年度64.0%(36,457名)と増加している。このような傾向から人口は減少傾向にあるが、大学進学者は大きく変化しないことが示されており、今後においても、安定的な学生数の確保がなされていると考える。ただし、先の地元残留率に鑑み、所在県に限らず近隣県を中心に積極的に学生募集の取り組みを行う必要がある。

(3) 新設組織の主な学生募集地域

教育学部学校教育課程及び経済情報学部経済情報学科

【資料⑬ 過去3年間の学校基本調査における卒業後の状況調査(高等学校 全日制・定時制)】

ア 岐阜県の高等学校を卒業した者の大学進学状況

学校基本調査によると、岐阜県内の高等学校を卒業した者の過去3年間の大学進学状況は、令和4年3月は卒業生数16,916人のうち大学進学者は10,003人(大学進学率59.1%)、令和5年3月は卒業生数16,124人のうち大学進学者は9,681人(大学進学率60.0%)、令和6年3月は卒業生数人のうち大学進学者は15,520人(大学進学率61.2%)となっている。同県内の高等学校を卒業した者の大学進学率は令和4年3月から令和6年3月にかけて2.1ポイント上昇しており、大学受験者は大幅に減少することはない、安定的に学生確保の見通しがあると考えられる。

イ 愛知県の高等学校を卒業した者の大学進学状況

学校基本調査によると、愛知県内の高等学校を卒業した者の過去3年間の大学進学状況は、令和4年

3月 は卒業生数 60,818 人のうち大学進学率は 37,597 人(大学進学率 61.8%)、令和5年3月 は卒業生数 59,717 人のうち大学進学率は 37,512 人(大学進学率 62.8%)、令和6年3月 は卒業生数人のうち大学進学率は 56,956 人(大学進学率 64.0%)となっている。同県内の高等学校を卒業した者の大学進学率は令和4年3月から令和6年3月にかけて 2.2 ポイント上昇しており、大学受験者は大幅に減少することはない、安定的に学生確保の見通しがあると考えられる。

ウ 三重県内の高等学校を卒業した者の大学進学状況

学校基本調査によると、三重県内の高等学校を卒業した者の過去3年間の大学進学状況は、令和4年3月 は卒業生数 14,607 人のうち大学進学率は 7,837 人(大学進学率 53.7%)、令和5年3月 は卒業生数 14,108 人のうち大学進学率は 7,724 人(大学進学率 54.7%)、令和6年3月 は卒業生数 13,451 人のうち大学進学率は 7,458 人(大学進学率 55.4%)となっている。同県内の高等学校を卒業した者の大学進学率は令和4年3月から令和6年3月にかけて 1.8 ポイント上昇しており、大学受験者は大幅に減少することはない、安定的に学生確保の見通しがあると考えられる。

エ 静岡県内の高等学校を卒業した者の大学進学状況

学校基本調査によると、静岡県内の高等学校を卒業した者の過去3年間の大学進学状況は、令和4年3月 は卒業生数 30,164 人のうち大学進学率は 16,818 人(大学進学率 55.8%)、令和5年3月 は卒業生数 29,624 人のうち大学進学率は 16,974 人(大学進学率 57.3%)、令和6年3月 は卒業生数 28,128 人のうち大学進学率は 16,359 人(大学進学率 58.2%)となっている。同県内の高等学校を卒業した者の大学進学率は令和4年3月から令和6年3月にかけて 2.4 ポイント上昇しており、大学受験者は大幅に減少することはない、安定的に学生確保の見通しがあると考えられる。

オ 長野県内の高等学校を卒業した者の大学進学状況

学校基本調査によると、長野県内の高等学校を卒業した者の過去3年間の大学進学状況は、令和4年3月 は卒業生数 17,397 人のうち大学進学率は 9,296 人(大学進学率 53.4%)、令和5年3月 は卒業生数 16,757 人のうち大学進学率は 9,095 人(大学進学率 54.3%)、令和6年3月 は卒業生数 16,085 人のうち大学進学率は 8,919 人(大学進学率 55.4%)となっている。同県内の高等学校を卒業した者の大学進学率は令和4年3月から令和6年3月にかけて 2.0 ポイント上昇しており、大学受験者は大幅に減少することはない、安定的に学生確保の見通しがあると考えられる。

カ 富山県内の高等学校を卒業した者の大学進学状況

学校基本調査によると、富山県内の高等学校を卒業した者の過去3年間の大学進学状況は、令和4年3月 は卒業生数 8,517 人のうち大学進学率は 4,814 人(大学進学率 56.5%)、令和5年3月 は卒業生数 8,308 人のうち大学進学率は 4,774 人(大学進学率 57.5%)、令和6年3月 は卒業生数 8,040 人のうち大学進学率は 4,699 人(大学進学率 58.4%)となっている。同県内の高等学校を卒業した者の大学進学率は令和4年3月から令和6年3月にかけて 19 ポイント上昇しており、大学受験者は大幅に減少することはない、安定的に学生確保の見通しがあると考えられる。

キ 石川県の高等学校を卒業した者の大学進学状況

学校基本調査によると、石川県内の高等学校を卒業した者の過去3年間の大学進学状況は、令和4年3月は卒業生数9,995人のうち大学進学者は6,023人(大学進学率60.3%)、令和5年3月は卒業生数9,376人のうち大学進学者は5,649人(大学進学率60.2%)、令和6年3月は卒業生数8,990人のうち大学進学者は5,638人(大学進学率62.7%)となっている。同県内の高等学校を卒業した者の大学進学率は令和4年3月から令和6年3月にかけて2.4ポイント上昇しており、大学受験者は大幅に減少することではなく、安定的に学生確保の見通しがあると考えられる。

ク 福井の高等学校を卒業した者の大学進学状況

学校基本調査によると、福井県内の高等学校を卒業した者の過去3年間の大学進学状況は、令和4年3月は卒業生数6,705人のうち大学進学者は4,013人(大学進学率59.9%)、令和5年3月は卒業生数6,667人のうち大学進学者は4,179人(大学進学率62.7%)、令和6年3月は卒業生数〇人のうち大学進学者は6,515人(大学進学率61.3%)となっている。同県内の高等学校を卒業した者の大学進学率は令和4年3月から令和6年3月にかけてポイント上昇しており、大学受験者は大幅に減少することではなく、安定的に学生確保の見通しがあると考えられる。

ケ 滋賀県の高等学校を卒業した者の大学進学状況

学校基本調査によると、滋賀県内の高等学校を卒業した者の過去3年間の大学進学状況は、令和4年3月は卒業生数12,108人のうち大学進学者は7,196人(大学進学率59.4%)、令和5年3月は卒業生数11,735人のうち大学進学者は7,231人(大学進学率61.6%)、令和6年3月は卒業生数11,326人のうち大学進学者は6,996人(大学進学率61.8%)となっている。同県内の高等学校を卒業した者の大学進学率は令和4年3月から令和6年3月にかけて2.4ポイント上昇しており、大学受験者は大幅に減少することではなく、安定的に学生確保の見通しがあると考えられる。

(4) 既設組織の定員充足の状況

①教育学部学校教育課程

【資料⑭ 既設組織の定員充足の状況】

教育学部学校教育課程の最近5年間の定員充足状況は、入学定員330人に対して、令和2年度362人(定員充足率110%)、令和3年度370人(定員充足率112%)、令和4年度402人(定員充足率121%)、令和5年度338人(定員充足率102%)、令和6年度390人(定員充足率118%)となっており、5年間の平均充足率は113%である。

②経済情報学部経済情報学科

【資料⑭ 既設組織の定員充足の状況】

経済情報学部経済情報学科の最近5年間の定員充足状況は、入学定員150人に対して、令和2年度185人(定員充足率123%)、令和3年度157人(定員充足率105%)、令和4年度177人(定員充足率118%)、令和5年度176人(定員充足率117%)、令和6年度161人(定員充足率107%)となっており、5年間の平均充足率は114%である。

3 学生確保の見通し

(1) 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

①教育学部学校教育課程

ア 既設組織における取組とその目標

本学では、安定的な学生確保に向けた具体的な取組を、次のとおり実施している。

(ア) 直接的な接触機会

(a) オープンキャンパス

本学では毎年、3～8月の期間においてオープンキャンパスを実施し、学部学科や入学者選抜の紹介する他、授業体験や本学在學生と交流する催事をとおして、大学の学びや学生生活を模擬的に体験する機会を設けている。

オープンキャンパス来場者からの入学者

入試年度(開催年度)	オープンキャンパス来場者	全体出願者	教育学部出願者	教育学部入学者
令和6年度(R5)	2,137人	748人	503人	246人
令和5年度(R4)	2,166人	769人	460人	175人

(b) 高等学校訪問

本学では、入学者選抜業務及び学生募集広報を所管する入学広報部が、学生募集における重点地域(愛知・三重・静岡・長野・富山・石川・福井・滋賀県)を設定し、計画的に高等学校を訪問し、進路指導担当者等と面会している。訪問の際は、学部学科の学びや入学者選抜等の最新情報の提供、学校推薦型選抜指定校制推薦方式の案内により、募集地域の高等学校からの確実な入学者の確保を目指している。

学生募集における重点地域の高等学校訪問校実績

	令和5年度		令和4年度	
訪問県	のべ訪問校数	実訪問高校数	のべ訪問回数	実訪問高校数
岐阜県	218校	87校	277校	86校
愛知県	268校	187校	320校	208校
三重県	63校	35校	104校	47校
静岡県	98校	74校	180校	107校
長野県	80校	52校	99校	56校
富山県	66校	35校	62校	32校
石川県	70校	41校	74校	42校
福井県	40校	21校	76校	26校
滋賀県	60校	37校	41校	34校

(c) 高等学校内外進学説明会等への参加

本学では、入学者選抜業務及び学生募集広報を所管する入学広報部を中心に、募集地域の高等学校内での進学相談会、模擬授業、及び高校外での進学相談会に積極的に参加をしている。令和6年度は合計459回、令和5年度は合計445回参加し、本学の魅力を発信している。なお高校内で実施される相談会のうち、教育分野の系統別ガイダンスは令和6年度に70回、令和5年度に68回参加し、分野の魅力を発信にも務めている。

高校内外での進学相談会等への参加回数

入試年度 (開催年度)	高校内 進学相談会	高校内 出張授業	高校外 進学相談会
令和6年度(R5)	276回	53回	130回
令和5年度(R4)	262回	46回	137回

上記進学相談会参加者のうち

入試年度 (開催年度)	進学相談会等 での接触者	全体出願者	教育学部 出願者	教育学部 入学者
令和6年度(R5)	5,121人	1,141人	255人	135人
令和5年度(R4)	4,559人	998人	221人	84人

(d) 高等学校対象入学者選抜説明会

本学では、入学者選抜業務及び学生募集広報を所管する入学広報部が、募集地域の高等学校教員を対象とした入学者選抜説明会を本学所在地である岐阜県岐阜市と募集地域の交通拠点である愛知県名古屋市で年2回実施している。(WEB配信あり) 令和6年度は21校、令和5年度は42校が参加した。

高等学校対象入学者選抜説明会の開催実績

入試年度 (開催年度)	説明会 参加校数	参加校における 全体出願者	教育学部 出願者	教育学部 入学者
令和6年度(R5)	21校	60人	32人	13人
令和5年度(R4)	42校	248人	99人	41人

(e) 高大連携協定校等を対象とした授業体験又は一日体験入学

本学では、連携協定を締結した高等学校と当該高等学校での単位認定のための授業開講、模擬授業の体験会、一日体験入学等の連携事業を実施している。

令和6年度(R6) 協定校実績

協定校	全体出願者	教育学部出願者	教育学部入学者
岐阜県立各務原高校	19人	5人	2人
岐阜県立岐阜各務野高校	1人	0人	0人

岐阜県立土岐商業高校	0 人	0 人	0 人
岐阜県立羽島北高校	2 8 人	9 人	5 人
愛知県立一宮北高校	8 人	1 人	0 人
北陸高校	3 人	3 人	0 人

令和 5 年度 (R5) 協定校実績

協定校	全体出願者	教育学部出願者	教育学部入学者
岐阜県立各務原高校	9 人	1 人	1 人
岐阜県立岐阜各務野高校	2 人	0 人	0 人
岐阜県立土岐商業高校	1 人	1 人	1 人
岐阜県立羽島北高校	1 9 人	3 人	2 人
愛知県立一宮北高校	9 人	1 人	0 人
北陸高校	5 人	0 人	0 人

(f) 同一法人内設置校（岐阜聖徳学園高等学校）との連携

本学では、同一法人内設置校である岐阜聖徳学園高等学校と、年間を通じた大学での学びを体験する機会を設けている。授業体験の際は在学生在が施設案内や大学での学びを紹介する等、本学での大学生活をより身近に感じられるよう配慮している。

令和 2 ～ 6 年度（5 年間） 岐阜聖徳学園学校の受験及び入学実績

令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
受験者数	入学者数	受験者数	入学者数	受験者数	入学者数	受験者数	入学者数	受験者数	入学者数
9 人	3 人	1 2 人	7 人	9 人	6 人	2 1 人	2 人	2 4 人	1 7 人

(イ) 間接的な接触機会

(a) 大学公式ホームページ等を通じた情報発信及び資料請求

本学では、公式ホームページと特設の受験生応援サイト（以下、「ホームページ」という。）により、本学の学びや入学者選抜等の情報を発信している。

また、大学公式 SNS（Instagram、LINE、X）を活用し、本学学生の学びや学生生活の様子、イベントの告知等を定期的に配信している。

(b) 雑誌等やWEB 外部媒体による PR 活動

本学では、雑誌等の外部媒体（進学情報サイト・進学情報誌）による PR 活動を行っている。また、接触者に対するダイレクトメールによる情報発信も行っている。

入試年度 (開催年度)	資料請求者	全体出願者	教育学部 出願者	教育学部 入学者
令和 6 年度 (R5)	15, 117 人	1, 114 人	782 人	294 人
令和 5 年度 (R4)	16, 695 人	1, 195 人	792 人	216 人

イ 新設組織における取組とその目標

(ア) オープンキャンパス

学生確保の取り組みとして、令和6年度開催のオープンキャンパスにおいては、主に高校2年生以下を対象に、定員変更に関する説明や、個別相談ブースによる相談・説明機会を設けた。

令和7年度オープンキャンパスにおいては、毎年参加者数が多く、かつニーズも高い模擬授業の定員を増やす予定である。また、本学の強みである教員採用試験対策について、在学生在が登壇し、教員採用試験に向けての取り組みや、対策の実演を行うプログラムを新設し、参加者に「教員になる」というイメージをより具体化しやすいよう工夫する。

【開催予定日程】

3月22日（土）、6月14日（土）、7月19日（土）、8月2日（土）・3日（日）・23日（土）

また、このたびの申請が認可され次第、速やかに入学者選抜における各募集人員や選抜方法に関する説明を行う。併せて、受験生の経済的負担を軽減するため、入学者選抜に関わる奨学金制度の見直しを検討している。

(イ) 高等学校訪問

ターゲットとして想定する高等学校への訪問を実施し、進路指導担当教員やクラス担任等に、学部の学びや入学者選抜について紹介する。学部教員と事務職員が同行することにより、学部の教育課程の特長や入学者選抜制度に対する理解を求める。

また、事前に学部教員を講師とした学びの内容や学部の魅力等を理解するための勉強会を定期的に行い、事務職員のみで訪問する際も、最新の情報を提供できるよう努める。

(ウ) 進学相談会等

高校内外で開催される進学相談会に例年同様積極的に参加する予定である。また、教育・保育学の系統別ガイダンスや模擬授業に特に積極的に参加し、高校生と直接面会できる機会を増やすことで、本学や学問系統への理解を促進する。

(エ) 高等学校対象入学者選抜説明会

令和7年度は、例年開催している入学者選抜説明に加え、入学定員の変更に伴う各選抜の募集人員の変更や、定員変更に至った経緯等を説明する予定である。参加校数の増加を図るほか、学部教員と高等学校教員の信頼関係構築を図る。

(オ) 大学ホームページ

令和7年5月に受験生向けサイトをリニューアルする予定である。定員変更に関する特設ページの公開や学部紹介動画の作成等、コンテンツを充実させることにより、受験生やその保護者を始め、多くのステークホルダーの理解を促す。

(カ) 広告代理店等の外部媒体によるPR活動

広告代理店等が企画する雑誌・WEB媒体による新設学部特集に積極的に参画し、募集地域のみならず広域にPRすることで、学部の認知や興味関心を獲得する。また、定員変更に際し冊子を制作し、発送及び各相談会等で説明する予定をしている。更に、定員変更を含めた大学PR活動の一環として、4月から約1か月にわたり、名古屋市営地下鉄、JR東海、名古屋鉄道の交通広告を掲出する。

(キ) ダイレクトメールによるPR活動

教育学・保育学分野を志望する本学の非接触者に対し、進学系WEB媒体を有する広告代理店を通じたダイレクトメールによるPR活動を実施する予定である。

ウ 当該取組の実績の分析結果に基づく、新設組織での入学者数の見込み

(ア) オープンキャンパスによる来場者数及び入学者の見込み

入試年度(開催年度)	オープンキャンパス来場者	全体出願者	教育学部出願者	教育学部入学者
令和8年度(R7)	2,500人	1,000人	600人	280人

(イ) 資料請求による入学者の見込み

入試年度(実施年度)	資料請求者	全体出願者	教育学部出願者	教育学部入学者
令和8年度(R7)	17,000人	1,300人	850人	320人

(ウ) 進学相談会による入学者の見込み

入試年度(実施年度)	進学相談会等での接触者	全体出願者	教育学部出願者	教育学部入学者
令和8年度(R7)	6,000人	1,300	300人	150人

(エ) 入学者見込み

過去4年の入学者数は以下のとおりである。

入学者選抜年度(実施年度)	総志願者数	年内選抜入学者数	年明選抜入学者数	入学者数計
令和6年度(R5)	3,120人	217人	173人	390人
令和5年度(R4)	3,461人	154人	184人	338人
令和4年度(R3)	3,689人	177人	225人	402人
令和3年度(R2)	3,461人	138人	232人	370人

過去4年間の入学者は入学定員である330人を超えており、平均にすると375人となっている。また、近年は年内選抜の受験者が増加する傾向であり、それに伴い、年内選抜(専願受験含む)からの入学者が

増加している。令和7年度入学者選抜から年内選抜、年明選抜の双方で受験方式を追加し、受験生の選択肢を増やし、受験生が自身に合った受験方式で受験できるように変更した。広報の取り組み強化、及び受験方式の変更により、令和8年度入学者は以下を想定する。

令和8年度入学者見込み数

入学者選抜年度(実施年度)	総志願者数	入学者数計
令和8年度(R7)	3,500人	375人

②経済情報学部経済情報学科

ア 既設組織における取組とその目標

本学では、安定的な学生確保に向けた具体的な取組を、次のとおり実施している。

(ア) 直接的な接触機会

(a) オープンキャンパス

本学では毎年、3～8月の期間においてオープンキャンパスを実施し、学部学科や入学者選抜の紹介する他、授業体験や本学在学学生と交流する催事をとおして、大学の学びや学生生活を模擬的に体験する機会を設けている。

オープンキャンパス来場者からの入学者

入試年度(開催年度)	オープンキャンパス来場者	全体出願者	経済情報学部出願者	経済情報学部入学者
令和6年度(R5)	2,137人	748人	84人	70人
令和5年度(R4)	2,166人	769人	126人	101人

(b) 高等学校訪問

本学では、入学者選抜業務及び学生募集広報を所管する入学広報部が、学生募集における重点地域（愛知・三重・静岡・長野・富山・石川・福井・滋賀県）を設定し、計画的に高等学校を訪問し、進路指導担当者等と面会している。訪問の際は、学部学科の学びや入学者選抜等の最新情報の提供、学校推薦型選抜指定校制推薦方式の案内により、募集地域の高等学校からの確実な入学者の確保を目指している。

学生募集における重点地域の高等学校訪問校実績

	令和5年度		令和4年度	
訪問県	のべ訪問校数	実訪問高校数	のべ訪問回数	実訪問高校数
岐阜県	218校	87校	277校	86校
愛知県	268校	187校	320校	208校
三重県	63校	35校	104校	47校
静岡県	98校	74校	180校	107校

長野県	80 校	52 校	99 校	56 校
富山県	66 校	35 校	62 校	32 校
石川県	70 校	41 校	74 校	42 校
福井県	40 校	21 校	76 校	26 校
滋賀県	60 校	37 校	41 校	34 校

(c) 高等学校内外進学説明会等への参加

本学では、入学者選抜業務及び学生募集広報を所管する入学広報部を中心に、募集地域の高等学校内での進学相談会、模擬授業、及び高校外での進学相談会に積極的に参加をしている。令和6年度は合計459回、令和5年度は合計445回参加し、本学の魅力を発信している。なお高校内で実施される相談会のうち、経済・経営分野の系統別ガイダンスは令和6年度に5回、令和5年度に4回参加し、分野の魅力の発信にも務めている。

高校内外での進学相談会等への参加回数

入試年度 (開催年度)	高校内 進学相談会	高校内 出張授業	高校外 進学相談会
令和6年度(R5)	276 回	53 回	130 回
令和5年度(R4)	262 回	46 回	137 回

上記進学相談会参加者のうち

入試年度 (開催年度)	進学相談会等 での接触者	全体出願者	経済情報学部 出願者	経済情報学部 入学者
令和6年度(R5)	5,121 人	1,141 人	50 人	41 人
令和5年度(R4)	4,559 人	998 人	62 人	46 人

(d) 高等学校対象入学者選抜説明会

本学では、入学者選抜業務及び学生募集広報を所管する入学広報部が、募集地域の高等学校教員を対象とした入学者選抜説明会を本学所在地である岐阜県岐阜市と募集地域の交通拠点である愛知県名古屋市で年2回実施している。(WEB配信あり) 令和6年度は21校、令和5年度は42校が参加した。

高等学校対象入学者選抜説明会の開催実績

入試年度 (開催年度)	説明会 参加校数	参加校における 全体出願者	経済情報学部 出願者	経済情報学部 入学者
令和6年度(R5)	21 校	60 人	17 人	13 人
令和5年度(R4)	42 校	248 人	69 人	49 人

(e) 高大連携協定校等を対象とした授業体験又は一日体験入学

本学では、連携協定を締結した高等学校と当該高等学校での単位認定のための授業開講、模擬授業の

体験会、一日体験入学等の連携事業を実施している。

令和6年度(R5) 協定校実績

協定校	全体出願者	経済情報学部出願者	経済情報学部入学者
岐阜県立各務原高校	19人	2人	1人
岐阜県立岐阜各務野高校	1人	0人	0人
岐阜県立土岐商業高校	0人	0人	0人
岐阜県立羽島北高校	28人	9人	4人
愛知県立一宮北高校	8人	3人	0人
北陸高校	3人	0人	0人

令和5年度(R4) 協定校実績

協定校	全体出願者	経済情報学部出願者	経済情報学部入学者
岐阜県立各務原高校	9人	1人	1人
岐阜県立岐阜各務野高校	2人	0人	0人
岐阜県立土岐商業高校	1人	1人	1人
岐阜県立羽島北高校	19人	3人	2人
愛知県立一宮北高校	9人	1人	0人
北陸高校	5人	0人	0人

(f) 同一法人内設置校（岐阜聖徳学園高等学校）との連携

本学では、同一法人内設置校であり、隣接する岐阜聖徳学園高等学校と、本学の授業体験等を通じ交流している。授業体験の際は同校の卒業生が施設案内や大学での学びを紹介する等、本学での大学生活をより身近に感じられるよう配慮している。

令和2～6年度（5年間） 岐阜聖徳学園学校の受験及び入学実績

令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
受験者数	入学者数	受験者数	入学者数	受験者数	入学者数	受験者数	入学者数	受験者数	入学者数
31人	23人	12人	9人	33人	27人	33人	21人	11人	9人

(イ) 間接的な接触機会

(a) 大学公式ホームページ等を通じた情報発信及び資料請求

本学では、公式ホームページと特設の受験生応援サイト（以下、「ホームページ」という。）により、本学の学びや入学者選抜等の情報を発信している。

また、大学公式SNS（Instagram、LINE、X）を活用し、本学学生の学びや学生生活の様子、イベントの告知等を定期的に配信している。

(b) 雑誌等やWEB外部媒体によるPR活動

本学では、雑誌等の外部媒体（進学情報サイト・進学情報誌）によるPR活動を行っている。また、接触者に対するダイレクトメールによる情報発信も行っている。

入試年度 (開催年度)	資料請求者	全体出願者	経済情報学部 出願者	経済情報学部 入学者
令和6年度(R5)	15,117人	1,114人	154人	94人
令和5年度(R4)	16,695人	1,195人	177人	104人

イ 新設組織における取組とその目標

(ア) オープンキャンパス

学生確保の取り組みとして、令和6年度開催のオープンキャンパスにおいては、主に高校2年生以下を対象に、定員変更に関する説明や、個別相談ブースによる相談・説明機会を設けた。

令和7年度オープンキャンパスにおいては、参加者の大学での学びのイメージ、や経済・経営・情報分野への興味喚起を促進するため、例年より模擬授業の回数を増やす予定である。

【開催予定日程】

3月22日(土)、6月14日(土)、7月19日(土)、8月2日(土)・3日(日)・23日(土)

また、このたびの申請が認可され次第、速やかに入学者選抜における各募集人員や選抜方法に関する説明を行う。併せて、受験生の経済的負担を軽減するため、入学者選抜に関わる奨学金制度の見直しを検討している。

(イ) 高等学校訪問

ターゲットとして想定する高等学校への訪問を実施し、進路指導担当教員やクラス担任等に、学部の学びや入学者選抜について紹介する。学部教員と事務職員が同行することにより、学部の教育課程の特長や入学者選抜制度に対する理解を求める。

また、学部教員を講師として、学びの内容や学部の魅力等の理解のための勉強会を定期的に開催し、事務職員のみで訪問する際も最新の情報を提供できるよう努める。

(ウ) 進学相談会等

高校内外で開催される進学相談会に例年同様積極的に参加する予定である。また、経済・経営・情報学の系統別ガイダンスや模擬授業には特に積極的に参加し、高校生と直接面会できる機会を増やすことで、本学や学問系統への理解を促進する。

(エ) 高等学校対象入学者選抜説明会

令和7年度は、例年開催している入学者選抜説明に加え、入学定員の変更に伴う各選抜の募集人員の変更や、定員変更に至った経緯等を説明する予定である。参加校数の増加を図るほか、学部教員と高等学校教員の信頼関係構築を図る。

(オ) 大学ホームページ

令和7年5月に受験生向けサイトをリニューアルする予定である。定員変更に関する特設ページの公開や学部紹介動画の作成等、コンテンツを充実させることにより、受験生やその保護者をはじめ、多くのステークホルダーの理解を促す。

(カ) 広告代理店等の外部媒体によるPR活動

広告代理店等が企画する雑誌・WEB媒体による新設学部特集に積極的に参画し、募集地域のみならず広域にPRすることで、学部の認知や興味関心を獲得する。また、定員変更に際し冊子を制作し、発送及び各相談会等で説明する予定をしている。更に、定員変更を含めた大学PR活動の一環として、4月から約1か月にわたり、名古屋市営地下鉄、JR東海、名古屋鉄道の交通広告を掲出する。

(キ) ダイレクトメールによるPR活動

経済・経営・情報分野を志望する本学の非接触者に対し、進学系WEB媒体を有する広告代理店を通じたダイレクトメールによるPR活動を実施する予定である。

ウ 当該取組の実績の分析結果に基づく、新設組織での入学者数の見込み

(ア) オープンキャンパスによる来場者及び入学者数の見込み

入試年度(開催年度)	オープンキャンパス来場者	全体出願者	経済情報学部出願者	経済情報学部入学者
令和8年度(R7)	2,500人	1,000人	120人	100人

(イ) 資料請求による入学者の見込み

入試年度(実施年度)	資料請求者	全体出願者	経済情報学部出願者	経済情報学部入学者
令和8年度(R7)	17,000人	1,300人	200人	130人

(ウ) 進学相談会による入学者の見込み

入試年度(実施年度)	進学相談会等での接触者	全体出願者	経済情報学部出願者	経済情報学部入学者
令和8年度(R7)	6,000人	1,300	70人	50人

エ) 経済情報学部入学者見込み

経済情報学部の過去4年の入学者数は以下のとおりである。

入学者選抜年度(実施年)	総志願者数	年内選抜入学者数	年明選抜入学者数	入学者数計
令和6年度(R5)	343人	145人	16人	161人

令和5年度(R4)	389人	157人	19人	176人
令和4年度(R3)	528人	159人	18人	177人
令和3年度(R2)	499人	138人	19人	157人

過去4年間の入学者は入学定員150人を超えており、平均にすると168人となっている。また、経済情報学部は年内選抜、特に専願受験による入学者が多く、例年安定した入学者が確保できている。令和7年度入学者選抜から年内選抜、年明選抜の双方で受験方式を追加し、受験生の選択肢を増やし、受験生が自身に合った受験方式で受験できるように変更した。広報の取り組み強化、及び受験方式の変更により、令和8年度入学者は以下を目標とする。

令和8年度入学者見込み数

入学者選抜年度(実施年度)	総志願者数	入学者数計
令和8年度(R7)	450人	180人

(2) 競合校の状況分析(立地条件、養成人材、教育内容と方法の類似性と定員充足状況)

①教育学部学校教育課程

ア 競合校の選定理由と新設組織の比較分析、優位性

本学部設置に当たり、競合として選定した大学は次のとおりである。

教育学部学校教育課程の競合校

- ①中部大学 現代教育学部 幼児教育学科、現代教育学科(現代教育専攻、中等教育国語数学専攻)
(以下、「中部大学」という。)
- ②椙山女学園大学 教育学部 子ども発達学科 (以下、「椙山女学園大学」という。)
- ③愛知淑徳大学 文学部 教育学科 (以下、「愛知淑徳大学」という。)

【資料⑮ 競合校の基本データ(教育学部)】

(ア) 競合校の選定理由

〔競合校選定の観点(学校種、定員規模、学問分野、所在地、学力層、その他)〕

今回申請の教育学部の競合校として選定した3大学は、共に教育学・保育学分野を有する4年制の私立大学であり、養成人材について、後述の取得できる資格・教員免許の種別により若干の差異はあるが、教育の実践力を醸成する点で共通している。

定員規模については、本学教育学部が350人であるのに対し、中部大学現代教育学部は160人、椙山女学園大学教育学部子ども発達学科は170人、愛知淑徳大学文学部教育学科は100人(令和7(2025)年4月に教育学部教育学科(入学定員140人)を設置)である。本学は大規模学部相当、競合の3大学は中規模学部相当に分類されるが、近隣に類似した規模の教員養成系学部はない。また、河合塾 Kei-Net が発表する2025年度入試難易予想ランキング(私立大)による学力層については、選抜毎の募集人員によ

り上下するものの大きな差はないと考える。

競合の3大学の所在地の状況として、人口約220万人（令和8年度予想18歳人口 約2万人）愛知県名古屋市（椋山女学園大学、愛知淑徳大学）を中心として、30～40万人（令和8年度予想18歳人口 約3～4千人）の愛知県春日井市（中部大学）、岐阜県岐阜市（本学）と続き、本学所在地最寄りの政令指定都市を中心とした人口分布となっている。また、本学が募集地域の交通拠点と想定されるJR名古屋駅から電車及びバスにて1時間弱を要する場所に位置している。

競合校については、上述のとおり、学校種、定員規模、学問分野、所在地、学力層を総合的に勘案し設定した。

（イ）競合校との比較分析

【競合校との比較分析の観点】

・教育内容と方法

教育学部学校教育課程

教育内容と方法について、教育学部学校教育課程においては「基礎セミナーⅠ、Ⅱ」を、初年次教育として開講し、4年間の学修に必要なアカデミックスキルやキャリア意識の獲得を支援している。競合においても「スタートアップセミナー（中部大学）」「人間論（椋山女学園大学）」「日本語リテラシー教育（愛知淑徳大学）」を開講している。また、1～2年次に他学部横断型の教養科目や専門における基礎的科目を、3～4年次に専門の発展的科目や実験・実習科目を配置し「専門演習」「卒業研究」等での4年間の学修の統合を目指した科目配置となっている。双方ともに、専門教科等に応じた施設設備を構えている他、近隣市町村との連携により、教育実習以外においても教育現場での経験を培うことのできる体制を整備している。そのうえで、本学部の強みは大きく4つあると考える。

1つ目は、高度化・複雑化する教育現場や時代の要請に応えるため、教科に応じた複数の教員免許状が取得できる「国語」「社会」「数学」「理科」「音楽」「体育」「英語」「保育初等教育」「特別支援教育」「学校心理」の10の専修を設けていることである。各専修の学生は、その専門を深めるだけではなく専修を横断して学ぶため、多様な学びを理解し、尊重しながら、幅広い世代を育む教育者を養成することができる。

2つ目は「学校ふれあい体験（1年次開講）」「教育実践観察（2年次開講）」「教育実習（3、4年次開講）」を通じた4年間の継続的な現場経験で実践力を磨く『教職体験科目』と大学での学び正課外での自主的な子供を理解する活動によって指導力、企画力、運営力を鍛える『子ども理解科目』からなる教育プログラム『クリスタルプラン』である。『クリスタルプラン』は文部科学省GPに認定されており、理論と実践の往還を柱とする本学部のカリキュラムにおいて実践的学習の中心を担っている。

3つ目は、「データサイエンス入門」「データサイエンス基礎」「データサイエンス（教育活用論）」「教育DX・探究活動Ⅰ、Ⅱ」「デジタル・シティズンシップ論」からなる教育プログラム『教育DX科目』である。現在、小中学校、高等学校では、GIGAスクール構想によって1人1台端末が用意され、教科学習や探究学習に活用されている。本プログラムでは、教育DXが進む教育現場において必要とされるデジタル教材の活用スキル、学習者個々の学びの最適化に資する教育データの活用スキル、探究学習への応用スキルを獲得し、教育DX人材として教育現場のリーダーとなる資質を養うことを目指している。

4つ目は、幼保小の架け橋人材の育成である。本学部では以前から保育専修において、幼稚園教諭一種

免許状、保育士資格、小学校教諭一種免許状を取得できるカリキュラムを展開してきた。令和7年度からは、非認知能力向上についての理論と実践を学ぶ「遊び学」、幼保小の学びの連続性とその支援について学ぶ「幼保小連携概論」等の科目による『幼保小架け橋科目』を整備し、教育課題に対し体系的な知識を有した教育者を養成することを目指しており、プログラム修了者に対し、独自資格『幼保小架け橋ティーチャー』として認定、オープンバッジを授与し、その学修成果を可視化する。

また、本学部は、収容定員1,400名に対し基幹教員を77名配置し、教員1人当たりの学生数は18.2人である。競合校と比較して低い水準にあることから、「基礎セミナー」「専門演習」「卒業研究」等、4年間を通じて学生への緊密な指導する上で大きな優位性であると考ええる。【資料⑩ 学生1人当たりの学生数の比較（教育学部）】

・入学者選抜（競合校の受験時期、入学手続時期との関係）【資料⑪ 入学者選抜の比較（教育学部）】

教育学部学校教育課程では、アドミッション・ポリシーに基づき、総合型選抜として、Yawaragi方式、自己推薦方式（前期日程）、学校推薦型選抜として、指定校制推薦方式、公募制推薦方式（前期日程）、一般選抜として、前期日程基礎科目方式、前期日程標準科目方式、共通テスト併用方式、後期日程等を設定している。

競合校との比較として、総合型選抜は、競合校ともに10月中旬、11月中旬に実施され、試験日から1週間程度で可否を発表しており、一次入学手続の締切りは合格発表から2週間程度となっている。学校推薦型選抜は、競合校ともに11月中旬、12月初旬に実施され、合格発表から1～2週間程度で可否を発表しており、一次入学手続きの締切りは合格発表から2週間程度となっている。一般選抜は、競合校ともに1月下旬、2月初旬、3月初旬に実施され、合格発表から1～2週間程度で可否を発表しており、一次入学手続きの締切りは合格発表から1～2週間程度となっている。このように選抜毎の日程は類似しているが、本学の特長として、特定の方式に偏らないよう入学者選抜方式や入学日程を考慮している他、大学入学共通テストの動向を踏まえた入学手続日程を考慮する等の工夫をしている。

・学生納付金、奨学制度などの修学支援の内容

教育学部学校教育課程及び競合校の学納金、奨学金については、【資料⑫ 学納金の比較（教育学部）】のとおりである。

【資料⑬ 私立大学等の令和5年度入学者に係る学生納付金等調査結果について_文部科学省】によると、初年度学生納付金の平均は1,477,339円であり、4校共に平均に比して安価であることがわかる。本学の内訳として、授業料は全国平均959,205円に対し本学は700,000円、入学金は全国平均240,806円に対し本学は300,000円、施設充実費は全国平均165,271円に対し本学は教育研究環境の整備費等の広義の教育充実費として360,000円を徴収する。教育充実費には、他にも、キャリア教育の専門講師の招聘や講座や専門演習の活動費に充てられており、学生納付金以外の負担をできる限り抑えるよう努めている。

奨学制度については、【資料⑭ 奨学金制度の比較（教育学部）】のとおり、本学及び中部大学において、入学者選抜に関する奨学制度として一般選抜型の授業料免除等を設けているが、本学では、更に、本学ではその他に、海外渡航プログラムに対する奨学制度により学生の学修を支援している。

・就職支援の内容

就職支援において特筆すべき優位性は、主に次の4点であると考える。

1点目は、教員を志す全学部 of 学生を対象とした教職支援のワンストップサポートである。開学から50年以上に渡り教育学部で培った教職支援のノウハウを活かし、教職課程課、教育実習課、教職支援課、教職教育研究課を擁する教職教育センターを開設し、センターに在籍する公立学校校長経験者・教育行政研究者15名以上が緊密に連携し支援や指導を行っている。教職支援として、10以上の県や政令指定都市の教育委員会の担当者による『教員採用試験説明会』を実施し、それぞれの試験内容や求める教員像を知ること、学生 of 志望に併せた能力開発を促している。また、外部業者が提供する教員採用試験模擬試験を2、3年次に計3回無料で受験することができ、模試の結果で得た自身の強みや弱みを補強する各種の対策講座を活用することができる仕組みづくりをしている。更に、教員採用対策として、筆記試験、面接試験、二次試験への対策講座を実施し、各自治体の試験内容に合わせたきめ細かい支援を講じている。また、教員採用試験後も、発問、板書、授業づくり等の基本を学び、教壇に立つ前 of 心構えや実践的な準備をすることを目的として『教壇準備講座』を実施しており、教員採用試験に合格するということのみに留まらない独自の支援体制を構築している。

2点目は、主に企業や団体等への就職志望者が多い経済情報学部において、学生本人、ゼミ担当教員、就職課職員を交えた三者面談の実施である。面談は、学修状況や就職意思、就職志望や志向性についてヒアリングすることで学生 of 状況を共有し、就職活動 of スケジュールや準備すべき対策等について助言する機会となっている。面談で得られた内容は学生データベースに保存し、随時実施する個別相談等に活用する等、教職協働による緊密なサポート体制を整備している。教育学部においては、教職以外の進路志望に対する支援を緊密に行うため、教職教育センターと就職課が連携・協力をして学生 of 志望に併せた就職支援ができる体制を講じている。

3点目は、企業説明会をはじめとした求人企業 of 独自の開拓である。求人検索サイトや企業側から届く求人 of 他、本学では、就職実績や社会情勢、企業の業界内でのポジション等を総合的に判断し、企業説明会への招聘や求人について直接企業を訪ねて依頼する。就職課職員による独自の開拓と、先述 of 緊密なサポート体制との両輪によって、学生 of 志望するキャリア形成 of 実現を目指すことができる。また、独自性という点において、本学では、すべての就職対策講座を就職課職員が独自に調整し、学生に提供する。講座の内容や担当講師 of 等、本学 of 視座をもって講座を提供することで不足のない就職対策 of 実現を目指している。

4点目は、『就職合宿』なる就職対策イベント of 実施である。『就職合宿』とは、面接やグループディスカッション of スキルを高めるため、特別講師を招いて実施する就職対策プログラムであり、プログラムをとおして集中的にトレーニングすることで、自己PRや志望動機を明確化し、自分の考えを明瞭に表現できる力を育成する。また、就職活動を迎える学生と就職活動を終えた上級生とのピアサポートによって、自らの長所や短所に早期に気づくことができるとともに、就職活動への意識を醸成することができる。

競合する大学においても、教員就職に関する支援、業界・業種を研究するセミナー、資格試験対策や公務員対策、企業懇談会等のサポートは実施しているが、上述4点 of 取組は、本学独自かつ優位性のある取組であると考える。

・取得できる資格【資料② 取得できる資格の比較（教育学部）】

教育学部を含む4校において取得できる資格として、主に幼稚園教諭一種免許状、小学校教諭一種免許状、中学校教諭一種免許状が挙げられる。本学の優位性として、各専修に対応したより多くの教科の中学校教諭一種免許状（国語、社会、数学、理科、音楽、体育、英語）及び高等学校教諭一種免許状（国語、歴史地理、公民、数学、理科、音楽、体育、英語）を取得できる。また、学校図書館司書教諭資格、特定の専修においては博物館学芸員資格の取得、准学校心理士受験資格が可能である。更に、浄土真宗本願寺派教師資格の取得が可能であり、浄土真宗本願寺派の宗門関係学校として、また、仏教精神を基調とした学校教育を行うとする本学の建学の精神を体现する上においても重要な資格となっている。

取得できる資格の比較

名称	学科	教員免許状	その他
中部大学	現代教育学部 幼児教育学科	・幼稚園教諭一種免許状 ・保育士	・レクリエーションインストラクター
	現代教育学部 現代教育学科	<現代教育専攻> ・小学校教諭一種免許状 ・中学校教諭一種免許状（理科） ・特別支援学校教諭一種免許状（知的障害者、肢体不自由者、病弱者） <中等教育国語数学専攻> ・中学校教諭一種免許状（国語・数学）	・准学校心理士受験資格
椋山女学園大学	教育学部 子ども発達学科	・幼稚園教諭一種免許状 ・保育士 ・小学校教諭一種免許状 ・中学校教諭一種免許状（国語・数学・音楽） ・高等学校教諭一種免許状（国語・数学・音楽） ・特別支援学校教諭一種免許状	・博物館学芸員 ・司書 ・学校図書館司書教諭 ・登録日本語教員
愛知淑徳大学	文学部 教育学科	<共通> ・小学校教諭一種免許状 <学校教育コース> ・中学校教諭一種免許状（国語・数学・社会・保健体育） ・高等学校教諭一種免許状（国語・数学・歴史地理・保健体育） <英語教育コース> ・中学校教諭一種免許状（英語）	

		・高等学校教諭一種免許状（英語） ・特別支援学校教諭一種免許状	
岐阜聖徳学園大学	教育学部 学校教育課程	<共通> ・小学校教諭一種免許状 ・幼稚園教諭一種免許状 <保育初等教育専修> ・保育士証 <各専修> ・中学校教諭一種免許状（国語・社会・数学・理科・音楽・保健体育・英語） - 特別支援学校教諭一種免許状（知的障害者、肢体不自由者、病弱者） ・中学校教諭一種免許状（国語・歴史・地理・数学・理科・音楽・保健体育・英語） ・特別支援学校教諭一種免許状（知的障害者、肢体不自由者、病弱者）	<共通> ・学校図書館司書教諭 ・浄土真宗本願寺派教師資格 <国語・社会専修> ・博物館学芸員 <学校心理専修> ・准学校心理士受験資格

イ 競合校の入学志願動向等

競合校の入学志願状況について、各大学が公表している3か年（2022～2024年度）の入学者選抜結果は【資料② 入学者選抜結果の概要（教育学部）】のとおりである。

競合を想定する中部大学、椋山女学園大学、愛知淑徳大学（2022～2024年度（出典：各大学ホームページ））の入学定員に対する平均志願倍率は、中部大学 6.8 倍、椋山女学園大学 4.8 倍、愛知淑徳大学 9.1 倍、平均合格倍率は中部大学 2.6 倍、椋山女学園大学 1.6 倍、愛知淑徳大学 2.3 倍となっている。教育学部学校教育課程（2022～2024年度（出典別記様式 2-3））における入学人定員に対する平均志願倍率は平均 10.5 倍、平均合格倍率は平均 1.6 倍となっている。

ウ 新設組織において定員を充足できる根拠等（競合校定員未充足の場合のみ）

競合校の令和6年5月1日現在の定員充足状況については、次の表のとおりである。

名称	学科	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	4年次	充足率
中部大学	現代教育学部 幼児教育学科	80	324	75	67	79	86	0.95
	現代教育学部 現代教育学科	80	324	91	91	103	70	1.10
	計	160	648	166	158	182	156	1.02
椋山	教育学部	170	692	175	169	164	175	0.99

女学 園大 学	子ども発達学科							
愛知 淑徳 大学	文学部 教育学科	100	400	109	102	116	107	1.09
岐阜 聖徳 学園 大学	教育学部 学校教育課程	330	1,320	390	334	411	359	1.13

在籍者数 2024（令和 6）年 5 月 1 日現在（大学HP公表データ）

双方とも、学部としての定員は充足しているものの、中部大学現代教育学部幼児教育学科については、充足率 0.95 倍、椋山女学園大学教育学部は 0.99 倍となっている。幼児教育や初等教育の志望度について、本学教育学部学校教育課程では、令和 7 年度に従前の『保育専修（保育士養成施設定員 20 人）』を『保育初等教育専修（保育士養成施設定員 50 人）』へと発展させ、先述の幼保小の架け橋期の教育を充実させる。『保育初等教育専修』への変更に当たり、令和 6 年度現在の高校 2 年生を対象とした入学意向調査において志望者は、他専修との複数回答ではあるが 1,494 人いることが分かっている。このことは、幼稚園教諭一種免許状、保育士証と小学校教諭一種免許状の同時取得へのニーズの高さを反映したものと考える。また、【資料③ 令和 6 年度私立大学・短期大学等入学志願状況_私学事業団】によれば、学部系統でみると全国の教育学系分野の志願倍率は 4.73 倍、充足率は 0.92 倍となっており、地域でみると、愛知県の志願倍率 7.30 倍、充足率は 0.99 倍と全国的に見ても高い水準である。大都市である愛知県を中心とした志願傾向はあるものの、本学の定員充足状況等に鑑みると、さらなる学生募集の取組によって志望度を上げることで、当該の入学定員についても十分確保できると考えられる。

②経済情報学部経済情報学科

ア 競合校の選定理由と新設組織の比較分析、優位性

本学部設置に当たり、競合として選定した大学は次のとおりである。

経済情報学部経済情報学科の競合校

- ①中部大学 経営情報学部 経営総合学科 （以下、「中部大学」という。）
- ②名古屋学院大学 経済学部 経済学科 （以下、「名古屋学院大学」という。）
- ③岐阜協立大学 経済学部 経済学科 （以下、「岐阜協立大学」という。）

【資料④ 競合校の基本データ（経済情報学部）】

（ア）競合校の選定理由

〔競合校選定の観点（学校種、定員規模、学問分野、所在地、学力層、その他）〕

今回申請の経済情報学部経済情報学科の競合校として選定した3大学は、共に経済学分野を有する4年制の私立大学であり、養成人材について、知識と実践的学習により、社会等貢献を目指す点で共通している。

定員規模については、本学経済情報学部経済情報学科が180人であるのに対し、中部大学は300人、名古屋学院大学は250人、岐阜協立大学は130人であり、本学を含む競合の3大学は中規模学部相当に分類される。また、河合塾 Kei-Net が発表する2025年度入試難易予想ランキング（私立大）による学力層については、42.5～35.0と選抜毎の募集人員により上下するものの大差はないと考える。

競合の3大学の所在地の状況として、人口約220万人（令和8年度予想18歳人口 約2万人）愛知県名古屋市（名古屋学院）を中心として、約3～40万人（令和8年度予想18歳人口 約3～4千人）の愛知県春日井市（中部大学）、岐阜県岐阜市（本学）、約15万人（令和8年度予想18歳人口 約1.5千人）の岐阜県大垣市（岐阜協立大学）と続き、本学所在地最寄りの政令指定都市を中心とした人口分布となっている。また、本学が募集地域の交通拠点と想定されるJR名古屋駅から電車及びバスにて1時間弱を要する場所に位置している。

競合校については、上述のとおり、学校種、定員規模、学問分野、所在地、学力層を総合的に勘案し設定した。

（イ）競合校との比較分析

【競合校との比較分析の観点】

・教育内容と方法

教育内容と方法について、経済情報学部経済情報学科においては「基礎セミナーⅠ，Ⅱ」を初年次教育として開講し、4年間の学修に必要なアカデミックスキルやキャリア意識の獲得を支援している。競合においても「スタートアップセミナー（中部大学）」「基礎演習（岐阜協立大学）」を開講している。また、1～2年次に他学部横断型の教養科目や専門における基礎的科目を、3～4年次に専門の発展的科目や実験・実習科目を配置し「専門演習」「卒業研究」での4年間の学修の統合を目指した科目配置となっている。共に経済・経営・情報の諸分野の知識を幅広く獲得し、様々な分野や業種の発展に貢献できる人材の育成を目指すことのできる科目配置となっている。その上で、本学部の強みや大きく3つあると考える。

1つ目は、数理・データサイエンス・AI教育の充実である。令和4年度に全学共通の教養基礎科目として開講している「データサイエンス入門」は、文部科学省数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）の認定を受けた。令和7年度には「データサイエンス」「AI実践演習Ⅰ，Ⅱ」「情報と社会」「マーケティングリサーチ」「経営分析」等の科目群により同プログラム（応用基礎レベル）の認定に向け申請予定である。社会科学系の学部において応用基礎レベル相当の学びを展開することで、分離融合の学生を輩出し、もって社会貢献に寄与することを目指している。

2つ目は、アントレプレナーシップ教育の充実である。現状、諸外国に比べ我が国ではアントレプレナーシップに係る各種指標が相対的に低く、大学におけるアントレプレナーシップ教育の受講者は1%程度とされている。【資料⑦_アントレプレナーシップ教育の現状について_文部科学省】この課題に対し本学部では「ベンチャー企業論」「事業経営入門」「アントレプレナーシップ論」等の科目により、クリティカルシンキングやデザイン思考を養い『不確実性の時代』とされる現代社会において地域社会のイノベ

ーションと持続可能性に寄与することを目指している。

3つ目は、国際性の涵養である。デジタル社会、A I 社会とされる経済社会において、国内企業や地域産業においても国際理解は必須である。本学部が所在する岐阜県においても、製造業等において外国人労働者は増加傾向となっている。【資料②⑤ 岐阜県の「外国人雇用状況」の届出状況について_岐阜労働局】本学部では「国際経済学」「国際金融論」「グローバルマネジメント」等の科目、また「外国語文化事情」科目による海外の文化やビジネス体験を通じて、国際性を養い、地域社会のグローカリゼーションに寄与することを目指している。

また、本学部は、収容定員 720 名に対し基幹教員を 24 名配置し、教員 1 人当たりの学生数は 30.0 人である。競合校と比較して低い水準にあることから、「基礎セミナー」「専門演習」「卒業研究」等、4 年間を通じて学生への緊密な指導する上で大きな優位性であると考ええる。【資料②⑥ 教員 1 人当たりの学生数の比較（経済情報学部）】

・入学者選抜（競合校の受験時期、入学手続時期との関係）【資料②⑦ 入学者選抜の比較（経済情報学部）】

入学者選抜において、経済情報学部経済情報学科では、アドミッション・ポリシーに基づき、総合型選抜として、Yawaragi 方式、自己推薦方式（前期・後期日程）、学校推薦型選抜として、指定校制推薦方式、公募制推薦方式（前期・後期日程）、課外活動特別推薦方式（前期・後期日程）、一般選抜として、前期日程基礎科目方式、前期日程標準科目方式、共通テスト併用方式、後期日程等を設定している。

競合校との比較として、総合型選抜は、競合校ともに 10 月中旬、11 月中旬に実施され、試験日から 1 週間程度で可否を発表しており、一次入学手続の締切りは合格発表から 2 週間程度となっている。学校推薦型選抜は、競合校ともに 11 月中旬、12 月初旬に実施され、合格発表から 1～2 週間程度で可否を発表しており、一次入学手続の締切りは合格発表から 2 週間程度となっている。一般選抜は、競合校ともに 1 月下旬、2 月初旬、3 月初旬に実施され、合格発表から 1～2 週間程度で可否を発表しており、一次入学手続の締切りは合格発表から 1～2 週間程度となっている。このように選抜毎の日程は類似しているが、本学の特長として、特定の方式に偏らないよう入学者選抜方式や入学日程を考慮している他、大学入学共通テストの動向を踏まえた入学手続日程を考慮する等の工夫をしている。

・学生納付金、奨学制度などの修学支援の内容

経済情報学部経済情報学科及び競合校の学納金、奨学金については、【資料②⑧ 学納金の比較（経済情報学部）】のとおりである。

学納金については、【資料②⑨ 私立大学等の令和 5 年度入学者に係る学生納付金等調査結果について_文部科学省】によると、初年度学生納付金の平均は 1,477,339 円であり、4 校共に平均に比して安価であることがわかる。本学の内訳として、授業料は全国平均 959,205 円に対し本学は 700,000 円、入学金は全国平均 240,806 円に対し本学は 300,000 円、施設充実費は全国平均 165,271 円に対し本学は教育研究環境の整備費等の広義の教育充実費として 360,000 円を徴収する。教育充実費には、他にも、キャリア教育の専門講師の招聘や講座や専門演習の活動費に充てられており、学生納付金以外の負担をできる限り抑えるよう努めている。

奨学制度については、【資料②⑨ 奨学金制度の比較（経済情報学部）】のとおり、入学者選抜に関する奨学制度として総合型選抜及び一般選抜型の双方に授業料免除等の奨学制度を設けているが、本学で

は、更に、課外活動奨励奨学金制度や課外活動特別奨学金制度を設け、学業と課外活動の両立を支援している。本学ではその他に、海外渡航プログラムに対する奨学制度により学生の学修を支援している。

・就職支援の内容

就職支援において特筆すべき優位性は、主に次の4点であると考ええる。

1点目は、主に企業や団体等への就職志望者が多い経済情報学部経済情報学科において、学生本人、ゼミ担当教員、就職課職員を交えた三者面談を実施している。面談は、学修状況や就職意思、就職志望や志向性についてヒアリングすることで学生の状況を共有し、就職活動のスケジュールや準備すべき対策等について助言する機会となっている。面談で得られた内容は学生データベースに保存し、随時実施する個別相談等に活用する等、教職協働による緊密なサポート体制を整備している。教育学部においては、教職以外の進路志望に対する支援を緊密に行うため、教職教育センターと就職課が連携・協力をして学生の志望に併せた就職支援ができる体制を講じている。

2点目は、企業説明会をはじめとした求人企業の独自の開拓である。求人検索サイトや企業側から届く求人他、本学では、就職実績や社会情勢、企業の業界内でのポジション等を総合的に判断し、企業説明会への招聘や求人について直接企業を訪問して依頼する。就職課職員による独自の開拓と、先述の緊密なサポート体制との両輪によって、学生の志望するキャリア形成の実現を目指すことができる。また、独自性という点において、本学では、すべての就職対策講座を就職課職員が独自に調整し、学生に提供する。講座の内容や担当講師の等、本学の視座をもって講座を提供することで不足のない就職対策の実現を目指している。

3点目は、『就職合宿』なる就職対策イベントの実施である。『就職合宿』とは、面接やグループディスカッションのスキルを高めるため、特別講師を招いて実施する就職対策プログラムであり、プログラムをとおして集中的にトレーニングすることで、自己PRや志望動機を明確化し、自分の考えを明瞭に表現できる力を育成する。また、就職活動を迎える学生と就職活動を終えた上級生とのピアサポートによって、自らの長所や短所に早期に気づくことができるとともに、就職活動への意識を醸成することができる。

4点目は、教員を志す全学部の学生を対象とした教職支援のワンストップサポートである。開学から50年以上に渡り教育学部で培った教職支援のノウハウを活かし、教職課程課、教育実習課、教職支援課、教職教育研究課を擁する教職教育センターを開設し、センターに在籍する公立学校校長経験者・教育行政研究者15名以上が緊密に連携し支援や指導を行っている。教職支援として、10以上の県や政令指定都市の教育委員会の担当者による『教員採用試験説明会』を実施し、それぞれの試験内容や求める教員像を知ることで、学生の志望に併せた能力開発を促している。また、外部業者が提供する教員採用試験模擬試験を2、3年次に計3回無料で受験することができ、模試の結果で得た自身の強みや弱みを補強する各種の対策講座を活用することができる仕組みづくりをしている。更に、教員採用対策として、筆記試験、面接試験、二次試験への対策講座を実施し、各自治体の試験内容に合わせたきめ細かい支援を講じている。また、教員採用試験後も、発問、板書、授業づくり等の基本を学び、教壇に立つ前の心構えや実践的な準備をすることを目的として『教壇準備講座』を実施しており、教員採用試験に合格するということのみに留まらない独自の支援体制を構築している。経済情報学部経済情報学科では、高等学校教諭一種免許状（商業・情報・公民）を取得することができるため、この支援体制を通じて、学生個々の進路実現を

きめ細かくサポートする。

競合する大学においても、教員就職に関する支援、業界・業種を研究するセミナー、資格試験対策や公務員対策、企業懇談会等のサポートは実施しているが、上述4点の取組は、本学独自かつ優位性のある取組であると考ええる。

・取得できる資格【資料⑩ 取得できる資格の比較（経済情報学部）】

取得できる資格として、中部大学では高等学校教諭一種免許状（商業）を、岐阜協立大学では高等学校教諭一種免許状（商業・公民）が取得できる。参考として、岐阜協立大学経営学部経営情報学科では、高等学校教諭一種免許状（商業・情報）が取得できる。本学の優位性として、高等学校教諭一種免許状（商業・情報・公民）を取得することができる他、学校図書館司書教諭資格、浄土真宗本願寺派教師資格の取得が可能である。浄土真宗本願寺派教師資格は、浄土真宗本願寺派の宗門関係学校として、また、仏教精神を基調とした学校教育を行うとする本学の建学の精神を体现する上においても重要な資格となっている。

取得できる資格の比較

名称	学科	教員免許状	その他
中部大学	経営情報学部 経営総合学科	・高等学校教諭一種免許状（商業）	
名古屋学院大学	経済学部 経済学科		
岐阜協立大学	経済学部 経済学科	・高等学校教諭一種免許状（商業） ・高等学校教諭一種免許状（公民）	
	経営学部 経営情報学科	・高等学校教諭一種免許状（商業） ・高等学校教諭一種免許状（情報）	
岐阜聖徳学園大学	経済情報学部 経済情報学科	・高等学校教諭一種免許状（商業） ・高等学校教諭一種免許状（情報） ・高等学校教諭一種免許状（公民）	・学校図書館司書教諭 ・浄土真宗本願寺派教師資格

イ 競合校の入学志願動向等

競合校の入学志願状況について、各大学が公表しているの入学者選抜結果は【資料⑪ 入学者選抜結果の概要（経済情報学部）】のとおりである。

競合を想定する中部大学（2022～2024年度（出典：中部大学ホームページ））の入学定員に対する平均志願倍率は平均3.6倍、平均合格倍率は2.2倍となっている。名古屋学院大学及び岐阜協立大学（2023～2024年度（出典：Kei-Net 一般選抜入試結果））の入学定員に対する平均志願倍率は、名古屋学院大学7.2倍、岐阜協立大学0.8倍、平均合格倍率は名古屋学院大学3.1倍、岐阜協立大学1.6倍となっている。経済情報学部経済情報学科（2022～2024年度（出典別記様式2-3））における入学人定員に対する平均志願倍率は平均2.3倍、平均合格倍率は平均1.3倍となっている。

ウ 新設組織において定員を充足できる根拠等（競合校定員未充足の場合のみ）

競合校の令和6年5月1日現在の定員充足状況については、次の表のとおりである。

名称	学科	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	4年次	充足率
中部大学	経営情報学部 経営総合学科	300	1,212	324	345	339	311	1.09
名古屋学院大学	経済学部 経済学科	250	1,000	278	277	314	312	1.18
岐阜協立大学	経済学部 経済学科	90	360	180				0.5
	経営学部 経営情報学科	70	280	300				1.07
岐阜聖徳学園大学	経済情報学部 経済情報学科	150	600	162	171	162	167	1.10

在籍者数 2024（令和6）年5月1日現在（大学HP公表データ）

競合校のうち、本学を含めた愛知県に所在する競合2大学については、1.09～1.18倍と定員充足している。本学と同一の所在地（岐阜県）である岐阜協立大学が収容定員充足率0.50倍となっているが、同経営学部経営情報学科では1.07倍となっている。【資料② 令和6年度私立大学・短期大学等入学志願状況_私学事業団】によれば、学部系統でみると令和6年度社会科学系分野の志願倍率7.66倍、充足率1.02倍と全国的には堅調に推移しており、地域でみると、愛知県の志願倍率7.30倍、充足率は0.99倍と全国的に見ても高い水準である。大都市である愛知県を中心とした志願傾向はあるものの、本学の定員充足状況等に鑑みると、経済、経営、情報を学べる特長を活かした学生募集の取組によって志望度を上げることで、当該の入学定員についても十分確保できると考えられる。

エ 学生納付金等の金額設定の理由

教育学部学校教育課程及び経済情報学部経済情報学科

新たに設置する学部・学科等の学生納付金を設定する際、本学では、学生納付金や補助金、手数料等の収入で、当該部門における教育・研究活動に必要な人件費及び経常的な経費を賄い、完成年度以降において消費収支が均衡の見通しが持てるよう計画している。教育学部学校教育課程は77人、経済情報学部経済情報学科は23人の基幹教員を配置し、多様な演習科目を1年次から4年次まで配置したカリキュラムを編成している。他の私立大学の学生納付金を参考とし、これらの教員体制整備に伴う人件費及び実習費等の経常経費を織り込んだ収支見通しを勘案し、教育学部、経済情報学部ともに初年度学生納付金は、入学金30万円、授業料106万円とする。

(3) 先行事例分析

修業年限や学生納付金などの条件変更はないため、当該条件が受験者層に与える影響はない。

(4) 学生確保に関するアンケート調査

【資料③ 岐阜聖徳学園大学「教育学部・経済情報学部」入学定員増（構想中）に関するアンケート調査結果報告書【高校生対象調査】】

①教育学部学校教育課程

本申請に当たり、本学では、外部の調査会社に依頼し、当該設置構想に対する入学意向調査を実施した。対象者は、本学への入学実績がある岐阜県及び愛知県を中心とした東海地方の国公立高等学校に在籍する2年生（令和6年度現在）30,000人、及び、令和6年度に実施したオープンキャンパスに参加した高校2年生であり、計13,925人から有効回答があった。

有効回答13,925人のうち、4年制大学を希望し、かつ、興味のある学問分野が教育学関係（教育学、教科教育学など）、教育学その他（保育学、子ども教育学、乳幼児教育学など）、幼稚園課程（幼稚園教員養成課程）、小学校課程（小学校教員養成課程）、中学校課程・高等学校課程（中学校・高等学校教員養成課程）、特別教科課程（書道・美術・工芸）など、特別支援教育課程（盲学校、聾学校、障害児教育など）である者（以下、「ターゲット層」という。）は2,549人である。

ターゲット層のうち、教育学部を「第一志望として受験し入学する」と回答した者（以下、「第一志望相当」という。）は365人、「第二・三志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する」と回答した者（以下、「第二・三志望相当」という。）は525人であり、第二・三志望相当以上の入学意向者数は890名となった。

今回申請する教育学部の定員350名に対し、第一志望相当で志願倍率1.04倍、第二・三志望相当を含めると、志願倍率2.54倍となることが分かる。

また、本学では、本学入学者に対し入学時アンケートを実施し、任意項目として受験理由や併願校を聴取している。入学時アンケートにおいて、本学の受験時の志望順位が2位、又は3位である場合に、募集地域に所在する国公立大学がより上位である者の過去5年間の数は次表のとおりとなる。

【2020～2024年度 入学時アンケート結果 教育学部の他に志望した大学】

年度	本学の志望順位が2位であるときの志望順位が1位である募集地域の国公立志望者の数	本学の志望順位が3位であるときの志望順位が2位以上である募集地域の国公立志望者の数
令和6（2024）	93	35
令和5（2023）	72	24
令和4（2022）	87	48
令和3（2021）	41	34
令和2（2020）	122	27

教育学部では、国公立大学を優先的に志望し、その併願先として本学部を受験し入学する者の割合が、現行の入学定員330名の平均3～4割程度となっている。このことから、第二・三志望相当の者の数は、

本学への入学意向として十分に想定できるものとする。

②経済情報学部経済情報学科

本申請に当たり、本学では、外部の調査会社に依頼し、当該設置構想に対する入学意向調査を実施した。対象者は、本学への入学実績がある岐阜県及び愛知県を中心とした東海地方の国公立高等学校に在籍する2年生（令和6年度現在）30,000人、及び、令和6年度に実施したオープンキャンパスに参加した高校2年生であり、計13,925人から有効回答があった。

有効回答13,925人のうち、4年制大学を希望し、かつ、興味のある学問分野が商学・経済学関係（経済学、経営学、経済情報学、金融学、国際ビジネス学、マーケティング（学））、社会科学その他（情報システム、ビジネス社会学、キャリアデザイン、経済政策学、情報メディア学など）、電気通信工学関係（メディア通信工学、情報通信システムなど）である者（以下、「ターゲット層」という。）は4,027人である。

ターゲット層のうち、経済情報学部を「第一志望として受験し入学する」と回答した者（以下、「第一志望相当」という。）は233人、「第二・三志望として受験し、他の志望校が不合格の場合に入学する」と回答した者（以下、「第二・三志望相当」という。）は439人であり、第二・三志望相当以上の入学意向者数は672名となった。

今回申請する教育学部の定員180名に対し、第一志望相当で志願倍率1.29倍、第二・三志望相当を含めると、志願倍率3.73倍となることが分かる。

（5）人材需要に関するアンケート調査等

<新設組織で養成する人材の全国的、地域的、社会的需要の動向>

①教育学部学校教育課程

教育学部学校教育課程では、教職に対する強い情熱をもち教師力、人間力を備えた義務教育教員の養成を目指している。

教育学系統の全国的な動向として、【資料③ 令和6年度学校基本調査_産業別就職者数】によると、産業別就職者数全体451,794人の8.6%に当たる38,961人が教育学系統の学生であり、産業別では、教育、学習支援業が半数を占め、次いで医療、福祉業、卸売業、小売業、公務、サービス業等に分布していることが分かる。

地域的な動向として、教員採用数については、先述の『人材需要の社会的動向等』のとおり、令和5年度採用者数実績において岐阜県274人（競争率1.8倍）、愛知県900人（競争率2.2倍）、愛知県名古屋市267人（競争率2.6倍）となっている。また、本学教育学部学校教育課程の過去5年間の教員就職率は次のとおりである。

2019（令和元）～2023（令和5）年度 岐阜聖徳学園大学教育学部の教員就職実績について

年度	卒業生数	教員就職者数	正規採用者数
2019（令和元）年度	386人	280人	210人
2020（令和2）年度	377人	291人	216人
2021（令和3）年度	352人	277人	215人

2022（令和4）年度	364 人	278 人	215 人
2023（令和5）年度	352 人	352 人	186 人

なお、採用意向調査については、本申請に先立って、当該教育委員会に定員を変更する令和8年度以降の採用予定人数や採用意向数を聴取したが、未決事項のため回答できないとの回答であった。

また、教員就職以外の就職について、本学が所在する岐阜県の有効求人倍率は、【資料③④ 一般職業紹介状況_2024.12 現在_岐阜労働局】によると、令和6年11月現在で1.54倍、本学の学生が多数在籍する愛知県の有効求人倍率は【資料③⑤ 最近の雇用情勢_2024.10 現在_愛知労働局】によると、令和6年10月現在で1.25倍であり、全国の有効求人倍率1.25倍に比して同水準以上であることが分かる。

本学部について、本学に対し求人募集実績にある企業や関係機関等への採用意向調査を実施した結果、依頼数2,275社のうち29.7%に当たる675社から回答があり、回答数の95.8%にあたる646社が本学の特色について魅力を感じると回答があった。また、本学部の卒業生の採用意向については、回答数の92.2%に当たる623社から採用したいとの回答があり、採用予定人数は本学部が想定する入学定員350人に対し2.5倍に当たる881人に上った。【資料③⑥ 岐阜聖徳学園大学「教育学部・経済情報学部」入学定員増（構想中）に関するアンケート調査結果報告書【企業等対象調査】】

地域の教員採用実績、本学の教員就職実績及び教員就職以外の採用意向等を総合的に判断すると、本学が育成しようとする人材は十分に社会的需要が見込めるものとする。

②経済情報学部経済情報学科

経済情報学部経済情報学科では、社会で役立つ実践的な経済、経営、情報分野の教育を行い、主体性・企画力・コミュニケーション能力等に富んだ有能な人材の育成を目指している。

社会科学系統の全国的な動向として、【資料③③ 令和6年度学校基本調査_産業別就職者数】によると、産業別就職者数全体451,794人の36.3%に当たる164,218人が社会科学系統の学生であり、産業別では、卸売業、小売業、情報通信業、金融業、保険業、製造業、公務、サービス業等さまざまな産業に幅広く活躍の機会があることが分かる。

地域的な動向として、本学が所在する岐阜県の有効求人倍率は、【資料③④ 一般職業紹介状況_2024.12 現在_岐阜労働局】によると、令和6年11月現在で1.54倍、本学の学生が多数在籍する愛知県の有効求人倍率は【資料③⑤ 最近の雇用情勢_2024.10 現在_愛知労働局】によると、令和6年10月現在で1.25倍であり、全国の有効求人倍率1.25倍に比して同水準以上であることが分かる。また、雇用力の高い産業として、岐阜県、愛知県ともに、製造業、卸売業、小売業、サービス業が挙げられており、地域的な人材需要に適合していると言える。

本学部について、本学に対し求人募集実績にある企業や関係機関等への採用意向調査を実施した結果、依頼数2,275社のうち29.7%に当たる675社から回答があり、回答数の96.4%に当たる651社が本学の特色について魅力を感じると回答があった。また、本学部の卒業生の採用意向については、回答数の87.7%に当たる592社から採用したいとの回答があり、採用予定人数は本学部が想定する入学定員180人に対し5.7倍に当たる1,026人に上った。【資料③⑥ 岐阜聖徳学園大学「教育学部・経済情報学部」入学定員増（構想中）に関するアンケート調査結果報告書【企業等対象調査】】

社会的動向として、【資料③⑦ 未来人材ビジョン_経済産業省 ※抜粋】によると、「常識や前提にとらわ

れず、ゼロからイチを生み出す能力」、「夢中を手放さず一つのことを掘り下げていく姿勢」、「グローバルな社会課題を解決する意欲」、「多様性を受容し、他者と協働する能力」といった、根源的な意識・行動面に至る能力や姿勢が求められるとしており、デジタル時代の教育を、知識の習得と探究（“知恵”）力の鍛錬という2つの機能のレイヤー構造として捉え直すべきではないかと示唆している。経済情報学部経済情報学科では、経済分野を柱に、興味や必要に合わせて経営分野、情報分野も学生自身の選択によって学ぶことができる教育課程を編成している。このことは、学びたい分野を入学後においても自身で見極め、興味を持った分野を掘り下げる主体性の涵養を促している。また「ベンチャー企業論」「事業経営入門」「アントレプレナーシップ論」等の科目により、ゼロからイチを生み出す能力を、「国際経済学」「国際金融論」「グローバルマネジメント」等の科目、「外国語文化事情」科目により、海外の文化やビジネス体験を通じたグローバルな社会の状況を掴む力を、学部横断で学ぶ教養基礎科目『Yawaragi Basis』により、学問分野に偏ることなく多様性を受容する力を育成している。更に「データサイエンス」「AI実践演習Ⅰ・Ⅱ」「情報と社会」「マーケティングリサーチ」「経営分析」等複数の科目により構成される独自プログラムは、令和7年度数理・データサイエンス・AI教育プログラム（応用基礎レベル）に申請予定であり、これらの教育課程が、上述アンケートの対象企業等の9割以上が魅力を感じる要因であると考えている。

4 新設組織の定員設定の理由 ※定員設定の合理性

（1）教育学部学校教育課程

本申請において、教育学部学校教育課程の収容定員充足率は、令和6年5月1日現在で1.13倍である。本申請では教育学部学校教育課程の入学定員を330人から350人に増加するが、現在の充足状況や上述した教育課程の特長等による新たなニーズの創出が見込まれることから、本申請の定員設定は妥当であると考えている。

（2）経済情報学部経済情報学科

本申請において、経済情報学部経済情報学科の収容定員充足率は1.10倍である。経済情報学部経済情報学科の入学定員を150人から180人に増加するが、現在の充足状況や上述した教育課程の特徴等による新たなニーズの創出が見込まれることから、本申請の定員設定は妥当であると考えている。

新設組織が置かれる都道府県への入学状況

別紙 1

○出身高校の所在地県別の入学者数の構成比（上位 5 都道府県）※直近年度

	都道府県名	人 数	構成比
1	岐阜県	2,096人	47.0%
2	愛知県	1,201人	26.9%
3	静岡県	104人	2.3%
4	長野県	103人	2.3%
5	三重県	101人	2.3%
	全 体	4,461人	100.0%

※「学校基本調査」の「出身高校の所在地県別入学者数」から作成すること。

※大学、学部、学部の学科、短期大学、短期大学の学科を設置する場合のみ作成（専門職大学、専門職短期大学、高等専門学校を含む）。大学院は作成不要。

○新設組織が置かれる都道府県の定員充足状況

	新組織所在地 (都道府県)	充足率		
		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
1	岐阜県	95.55%	91.23%	86.93%
2				

※出典大学ポートレート私学版

※2校地で教育課程を実施する場合はそれぞれの状況を記載すること。

○新設組織の学問分野（系統区分）の定員充足状況

	系統区分	充足率		
		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
1	教育学（大学）	93.31%	91.37%	91.54%
2	社会科学系（大学）	102.73%	102.70%	102.48%

※「系統区分」は日本私立学校振興・共済事業団の「今日の私学財政」の系統区分に従うこと。

１．各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平 均
総合型選抜	募集人数	4人	4人	4人	12人	21人	9人
	延べ人数	392人	324人	312人	297人	348人	335人
	志願者数	392人	320人	311人	295人	344人	332人
	受験者数	151人	153人	178人	154人	214人	170人
	合格者数						#DIV/0!
	うち追加合格者数						#DIV/0!
	辞退者数						
	実人数	392人	324人	312人	297人	348人	335人
	志願者数	392人	320人	311人	295人	344人	332人
	受験者数	151人	153人	178人	154人	214人	170人
学校推薦型選抜	募集人数	84人	78人	111人	88人	149人	102人
	延べ人数	93人	95人	95人	95人	94人	94人
	志願者数	51人	60人	72人	68人	68人	64人
	受験者数	51人	60人	72人	68人	68人	64人
	合格者数	51人	60人	72人	68人	68人	63.8
	うち追加合格者数						#DIV/0!
	辞退者数						#DIV/0!
	実人数	51人	60人	72人	68人	68人	63.8
	志願者数	51人	60人	72人	68人	68人	63.8
	受験者数	51人	60人	72人	68人	68人	63.8
一般選抜	募集人数	200人	198人	198人	193人	186人	195
	延べ人数	3030人	2490人	2680人	2677人	2336人	2642.6
	志願者数	2963人	2390人	2579人	2571人	2211人	2542.8
	受験者数	879人	1095人	989人	1329人	1271人	1112.6
	合格者数	55人	133人	0人	282人	330人	160
	うち追加合格者数						#DIV/0!
	辞退者数						#DIV/0!
	実人数	1107人	967人	972人	933人	997人	995.2
	志願者数	1094人	952人	945人	910人	954人	971
	受験者数	573人	620人	566人	623人	571人	590.6
共通テスト利用入試	募集人数	205人	216人	203人	177人	161人	192.4
	延べ人数	33人	33人	33人	30人	29人	31.6
	志願者数	628人	587人	625人	419人	368人	525.4
	受験者数	628人	584人	625人	419人	366人	524.4
	合格者数	339人	336人	325人	184人	185人	273.8
	うち追加合格者数						#DIV/0!
	辞退者数						#DIV/0!
	実人数	492人	466人	505人	360人	314人	427.4
	志願者数	492人	466人	505人	360人	313人	427.2
	受験者数	280人	289人	298人	175人	167人	241.8
その他の特別選抜	募集人数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
	延べ人数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	志願者数						#DIV/0!
	受験者数						#DIV/0!
	合格者数						#DIV/0!
	うち追加合格者数						#DIV/0!
	辞退者数						#DIV/0!
	実人数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	志願者数						#DIV/0!
	受験者数						#DIV/0!
合計	募集人数	330人	330人	330人	330人	330人	330人
	延べ人数	4101人	3461人	3689人	3461人	3120人	3566人
	志願者数	4034人	3354人	3587人	3353人	2989人	3463人
	受験者数	1420人	1644人	1564人	1735人	1738人	1620人
	合格者数	55人	133人	0人	282人	330人	160人
	うち追加合格者数						#DIV/0!
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	2042人	1817人	1861人	1658人	1727人	1821人
	志願者数	2029人	1798人	1833人	1633人	1679人	1794人
	受験者数	1055人	1122人	1114人	1020人	1020人	1066人
	募集人数	55人	116人	0人	235人	197人	121人
	延べ人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	志願者数						#DIV/0!
	受験者数						#DIV/0!
	合格者数						#DIV/0!
	うち追加合格者数						#DIV/0!
	辞退者数						#DIV/0!
	実人数						#DIV/0!
	志願者数						#DIV/0!
	受験者数						#DIV/0!

３．入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平 均
入 学 定 員	330人	330人	330人	330人		330
入 学 定 員 充 足 率	1.10	1.12	1.22	1.02	#DIV/0!	#DIV/0!
歩 留 率	0.25	0.23	0.26	0.19	0.22	0.23

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

１．各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平 均
総合型選抜	募集人数	10人	10人	10人	10人	10人	10人
	延べ人数	40人	9人	15人	27人	23人	23人
	志願者数	40人	8人	15人	27人	22人	22人
	受験者数	40人	8人	15人	26人	21人	18人
	合格者数	19人	8人	15人	26人	21人	#DIV/0!
	うち追加合格者数						#DIV/0!
	辞退者数						23人
	実人数	40人	9人	15人	27人	23人	22人
	志願者数	40人	8人	15人	27人	22人	18人
	受験者数	19人	8人	15人	26人	21人	#DIV/0!
学校推薦型選抜	募集人数	18人	6人	13人	20人	18人	15人
	延べ人数	65人	65人	65人	65人	65人	65人
	志願者数	98人	97人	71人	52人	55人	75人
	受験者数	98人	95人	71人	50人	54人	74人
	合格者数	98人	95人	71人	50人	54人	73.6
	うち追加合格者数						#DIV/0!
	辞退者数						#DIV/0!
	実人数	98人	97人	71人	52人	55人	74.6
	志願者数	98人	95人	71人	50人	54人	73.6
	受験者数	98人	95人	71人	50人	54人	73.6
一般選抜	募集人数	87人	88人	54人	43人	52人	64.8
	延べ人数	60人	60人	60人	60人	60人	60
	志願者数	539人	293人	206人	142人	75人	251
	受験者数	507人	262人	183人	123人	66人	228.2
	合格者数	334人	234人	169人	108人	57人	180.4
	うち追加合格者数	30人	0人	0人	0人	0人	6
	辞退者数						#DIV/0!
	実人数	293人	152人	107人	74人	51人	135.4
	志願者数	285人	147人	103人	67人	49人	130.2
	受験者数	226人	139人	100人	66人	41人	114.4
共通テスト利用入試	募集人数	29人	0人	0人	0人	0人	5.8
	延べ人数	59人	24人	17人	16人	8人	24.8
	志願者数	15人	15人	15人	15人	15人	15
	受験者数	116人	71人	70人	31人	20人	61.6
	合格者数	116人	70人	69人	31人	20人	61.2
	うち追加合格者数	78人	62人	66人	30人	18人	50.8
	辞退者数						#DIV/0!
	実人数	115人	70人	70人	31人	20人	61.2
	志願者数	115人	70人	69人	31人	20人	61
	受験者数	78人	62人	66人	30人	18人	50.8
その他の特別選抜	募集人数	3人	4人	2人	1人	1人	2.2
	延べ人数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
	志願者数	2人	3人	1人	2人	0人	1.6
	受験者数	2人	3人	1人	1人	0人	1.4
	合格者数	2人	3人	1人	1人	0人	1.4
	うち追加合格者数						#DIV/0!
	辞退者数						#DIV/0!
	実人数	2人	3人	1人	2人	0人	1.6
	志願者数	2人	3人	1人	1人	0人	1.4
	受験者数	2人	3人	1人	1人	0人	1.4
合計	募集人数	150人	150人	150人	150人	150人	150人
	延べ人数	795人	473人	363人	254人	173人	412人
	志願者数	763人	438人	339人	232人	162人	387人
	受験者数	531人	402人	322人	215人	150人	324人
	合格者数	30人	0人	0人	0人	0人	6人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	548人	331人	264人	186人	149人	296人
	志願者数	540人	323人	259人	176人	145人	289人
	受験者数	423人	307人	253人	173人	134人	258人
入学定員充足率		29人	0人	0人	0人	0人	6人
入学定員充足率		0人	0人	0人	0人	0人	0人
入学定員充足率		169人	125人	87人	81人	79人	108人

３．入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平 均
入 学 定 員	150人	150人	150人	150人		150
入 学 定 員 充 足 率	1.13	0.83	0.58	0.54	#DIV/0!	#DIV/0!
歩 留 率	0.32	0.31	0.27	0.38	0.53	0.36

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

１．各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平 均
総合型選抜	募集人数	5人	5人	5人	5人	5人	5人
	延べ人数	志願者数	38人	29人	32人	38人	26人
		受験者数	38人	27人	32人	38人	24人
		合格者数	15人	12人	19人	22人	22人
		うち追加合格者数					
		辞退者数					
	実人数	志願者数	38人	29人	32人	38人	26人
		受験者数	38人	27人	32人	38人	24人
		合格者数	15人	12人	19人	22人	22人
		うち追加合格者数					
		辞退者数					
	入学者数	15人	9人	17人	18人	15人	15人
学校推薦型選抜	募集人数	70人	70人	70人	70人	70人	70人
	延べ人数	志願者数	145人	147人	153人	146人	144人
		受験者数	144人	144人	153人	146人	143人
		合格者数	141人	137人	144人	141人	139人
		うち追加合格者数					
		辞退者数					
	実人数	志願者数	147人	147人	153人	146人	144人
		受験者数	145人	144人	153人	146人	143人
		合格者数	141人	137人	144人	141人	139人
		うち追加合格者数					
		辞退者数					
	入学者数	135人	128人	139人	139人	130人	134.2
一般選抜	募集人数	60人	60人	60人	60人	60人	60
	延べ人数	志願者数	365人	248人	280人	158人	136人
		受験者数	319人	223人	254人	132人	117人
		合格者数	91人	103人	96人	74人	67人
		うち追加合格者数	0人	7人	0人	0人	0人
		辞退者数					
	実人数	志願者数	215人	160人	151人	88人	94人
		受験者数	199人	152人	145人	78人	89人
		合格者数	78人	89人	70人	56人	54人
		うち追加合格者数	0人	7人	0人	0人	0人
		辞退者数					
	入学者数	27人	15人	13人	11人	11人	15.4
共通テスト利用入試	募集人数	15人	15人	15人	15人	15人	15
	延べ人数	志願者数	98人	74人	60人	45人	38人
		受験者数	98人	73人	60人	45人	38人
		合格者数	40人	36人	46人	41人	33人
		うち追加合格者数					
		辞退者数					
	実人数	志願者数	96人	74人	60人	45人	38人
		受験者数	96人	73人	60人	45人	38人
		合格者数	38人	36人	46人	41人	33人
		うち追加合格者数					
		辞退者数					
	入学者数	7人	2人	5人	8人	5人	5.4
その他の特別選抜	募集人数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
	延べ人数	志願者数	1人	1人	3人	2人	0人
		受験者数	1人	1人	3人	2人	0人
		合格者数	1人	1人	3人	2人	0人
		うち追加合格者数					
		辞退者数					
	実人数	志願者数	1人	1人	3人	2人	0人
		受験者数	1人	1人	3人	2人	0人
		合格者数	1人	1人	3人	2人	0人
		うち追加合格者数					
		辞退者数					
	入学者数	1人	1人	3人	0人	0人	1
合計	募集人数	150人	150人	150人	150人	150人	150人
	延べ人数	志願者数	647人	499人	528人	389人	344人
		受験者数	600人	468人	502人	363人	322人
		合格者数	288人	289人	308人	280人	261人
		うち追加合格者数	0人	7人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	497人	411人	399人	319人	302人
		受験者数	479人	397人	393人	309人	294人
		合格者数	273人	275人	282人	262人	248人
		うち追加合格者数	0人	7人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	185人	155人	177人	176人	161人	171人

３．入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平 均
入 学 定 員	150人	150人	150人	150人	150人	150
入 学 定 員 充 足 率	1.23	1.03	1.18	1.17	1.07	1.14
歩 留 率	0.64	0.54	0.57	0.63	0.62	0.60

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

１．各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平 均
総合型選抜	募集人数	2人	2人	2人	2人	6人	3人
	延べ人数	79人	42人	46人	28人	44人	48人
	志願者数	76人	42人	46人	27人	44人	47人
	受験者数	39人	37人	26人	22人	32人	31人
	合格者数						#DIV/0!
	うち追加合格者数						#DIV/0!
	辞退者数						
	実人数	79人	42人	46人	28人	44人	48人
	志願者数	76人	42人	46人	27人	44人	47人
	受験者数	39人	37人	26人	22人	32人	31人
学校推薦型選抜	募集人数	25人	23人	18人	18人	27人	22人
	延べ人数	38人	27人	41人	31人	42人	36人
	志願者数	38人	27人	41人	31人	42人	36人
	受験者数	34人	27人	35人	29人	39人	32.8
	合格者数						#DIV/0!
	うち追加合格者数						#DIV/0!
	辞退者数						
	実人数	38人	27人	41人	31人	42人	35.8
	志願者数	38人	27人	41人	31人	42人	34.2
	受験者数	34人	27人	35人	29人	39人	32.8
一般選抜	募集人数	30人	27人	27人	25人	35人	28.8
	延べ人数	47人	47人	46人	46人	37人	44.6
	志願者数	587人	387人	381人	275人	164人	358.8
	受験者数	491人	334人	300人	214人	141人	296
	合格者数	167人	187人	196人	190人	100人	168
	うち追加合格者数	42人	0人	0人	0人	0人	8.4
	辞退者数						#DIV/0!
	実人数	252人	181人	161人	136人	87人	163.4
	志願者数	236人	172人	149人	127人	80人	152.8
	受験者数	126人	126人	122人	122人	63人	111.8
共通テスト利用入試	募集人数	29人	38人	32人	37人	15人	30.2
	延べ人数	5人	5人	5人	5人	4人	4.8
	志願者数	92人	61人	58人	49人	30人	58
	受験者数	92人	61人	58人	49人	30人	58
	合格者数	57人	48人	47人	41人	26人	43.8
	うち追加合格者数						#DIV/0!
	辞退者数						#DIV/0!
	実人数	92人	61人	58人	49人	30人	58
	志願者数	92人	61人	58人	49人	30人	58
	受験者数	57人	48人	47人	41人	26人	43.8
その他の特別選抜	募集人数	0人	3人	3人	3人	2人	2.2
	延べ人数	0人	1人	0人	0人	0人	#DIV/0!
	志願者数		1人				0.2
	受験者数		1人				1
	合格者数		1人				1
	うち追加合格者数						#DIV/0!
	辞退者数						#DIV/0!
	実人数	0人	1人	0人	0人	0人	0.2
	志願者数		1人				1
	受験者数		1人				1
合計	募集人数	80人	80人	80人	80人	80人	80人
	延べ人数	796人	518人	526人	383人	280人	501人
	志願者数	697人	465人	441人	319人	255人	435人
	受験者数	297人	300人	304人	282人	197人	276人
	合格者数	42人	0人	0人	0人	0人	8人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	461人	312人	306人	244人	203人	305人
	志願者数	442人	303人	290人	232人	194人	292人
	受験者数	256人	239人	230人	214人	160人	220人
	募集人数	84人	91人	80人	83人	79人	83人
	延べ人数						
	志願者数						
	受験者数						
	合格者数						
	うち追加合格者数						
	辞退者数						
	実人数						
	志願者数						
	受験者数						

３．入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平 均
入 学 定 員	80人	80人	80人	80人	80人	80
入 学 定 員 充 足 率	1.05	1.14	1.00	1.04	0.99	1.04
歩 留 率	0.28	0.30	0.26	0.29	0.40	0.31

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

大学学部学科等名：岐阜聖徳学園大学短期大学部幼児教育学科第一部

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平 均
総合型選抜	募集人数	—	5人	5人	5人	5人	5人
	延べ人数	2人	13人	12人	7人	12人	9人
		2人	12人	12人	8人	12人	9人
		2人	12人	12人	8人	12人	9人
							#DIV/0!
	実人数	2人	13人	12人	7人	12人	9人
		2人	12人	12人	8人	12人	9人
		2人	12人	12人	8人	12人	9人
							#DIV/0!
	入学者数	2人	11人	10人	8人	7人	8人
学校推薦型選抜	募集人数	70人	70人	70人	70人	70人	70人
	延べ人数	38人	49人	42人	39人	22人	38人
		38人	49人	42人	39人	22人	38人
		38人	49人	42人	39人	22人	38
							#DIV/0!
	実人数	38人	49人	42人	39人	22人	38
		38人	49人	42人	39人	22人	38
		38人	49人	42人	39人	22人	38
							#DIV/0!
	入学者数	37人	49人	42人	38人	22人	37.6
一般選抜	募集人数	27人	22人	22人	22人	22人	23
	延べ人数	42人	28人	16人	19人	4人	21.8
		38人	25人	16人	16人	4人	19.8
		32人	20人	11人	12人	2人	15.4
		0人	0人	0人	0人	0人	0
	実人数	21人	12人	8人	9人	2人	10.4
		20人	11人	8人	8人	2人	9.8
		20人	11人	8人	8人	1人	9.6
		0人	0人	0人	0人	0人	0
	入学者数	1人	0人	2人	2人	0人	1
共通テスト利用入試	募集人数	3人	3人	3人	3人	3人	3
	延べ人数	6人	4人	4人	1人	1人	3.2
		6人	4人	4人	1人	1人	3.2
		6人	4人	3人	1人	1人	3
							#DIV/0!
	実人数	6人	4人	4人	1人	1人	3.2
		6人	4人	4人	1人	1人	3.2
		6人	4人	3人	1人	1人	3
				0人	0人	0人	0
	入学者数	1人	0人	0人	0人	0人	0.2
その他の特別選抜	募集人数	—	—	—	—	—	#DIV/0!
	延べ人数	6人	3人	4人	5人	7人	5
		6人	3人	4人	5人	7人	5
		6人	3人	4人	5人	5人	4.6
						1人	1
	実人数	6人	3人	4人	5人	7人	5
		6人	3人	4人	5人	7人	5
		6人	3人	4人	5人	5人	4.6
						1人	1
	入学者数	6人	3人	4人	5人	6人	4.8
合計	募集人数	100人	100人	100人	100人	100人	100人
	延べ人数	94人	97人	78人	71人	46人	77人
		90人	93人	78人	69人	46人	75人
		84人	88人	72人	65人	42人	70人
		0人	0人	0人	0人	1人	0人
	実人数	73人	81人	70人	61人	44人	66人
		72人	79人	70人	61人	44人	65人
		72人	79人	69人	61人	41人	64人
		0人	0人	0人	0人	1人	0人
	入学者数	47人	63人	58人	53人	35人	51人

３．入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平 均
入 学 定 員	100人	100人	100人	100人	100人	100
入 学 定 員 充 足 率	0.47	0.63	0.58	0.53	0.35	0.51
歩 留 率	0.56	0.72	0.81	0.82	0.83	0.75

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

１．各選抜方法の状況

		H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平 均
総合型選抜	募集人数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
	延べ人数	4人	2人	5人	6人	4人	4人
	志願者数	4人	2人	5人	6人	4人	4人
	受験者数	4人	2人	5人	4人	3人	4人
	合格者数						#DIV/0!
	うち追加合格者数						#DIV/0!
	辞退者数						4人
	実人数	4人	2人	5人	6人	4人	4人
	志願者数	4人	2人	5人	4人	3人	4人
	受験者数	4人	2人	5人			#DIV/0!
学校推薦型選抜	募集人数	35人	35人	35人	35人	35人	35人
	延べ人数	45人	41人	38人	39人	37人	40人
	志願者数	45人	41人	37人	39人	37人	40人
	受験者数	45人	41人	37人	39人	37人	39.8
	合格者数						#DIV/0!
	うち追加合格者数						#DIV/0!
	辞退者数						40
	実人数	45人	41人	38人	39人	37人	39.8
	志願者数	45人	41人	37人	39人	37人	39.8
	受験者数	45人	41人	37人	39人	37人	#DIV/0!
一般選抜	募集人数	15人	12人	12人	12人	12人	12.6
	延べ人数	5人	14人	3人	3人	4人	5.8
	志願者数	5人	11人	3人	3人	4人	5.2
	受験者数	4人	8人	2人	3人	2人	3.8
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	うち追加合格者数						#DIV/0!
	辞退者数						3.6
	実人数	4人	7人	2人	2人	3人	3.6
	志願者数	4人	7人	2人	2人	3人	3.6
	受験者数	4人	6人	2人	2人	2人	3.2
共通テスト利用入試	募集人数	-	3人	3人	3人	3人	3
	延べ人数	0人	4人	0人	2人	2人	1.6
	志願者数		4人		2人	2人	2.666666667
	受験者数		3人		2人	2人	2.333333333
	合格者数						#DIV/0!
	うち追加合格者数						#DIV/0!
	辞退者数						1.6
	実人数	0人	4人	0人	2人	2人	2.666666667
	志願者数		4人		2人	2人	2.333333333
	受験者数		3人		2人	2人	#DIV/0!
その他の特別選抜	募集人数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
	延べ人数	1人	0人	0人	0人	2人	0.6
	志願者数	1人				2人	1.5
	受験者数	1人				2人	1.5
	合格者数						#DIV/0!
	うち追加合格者数						#DIV/0!
	辞退者数						0.6
	実人数	1人	0人	0人	0人	2人	1.5
	志願者数	1人				2人	1.5
	受験者数	1人					#DIV/0!
合計	募集人数	50人	50人	50人	50人	50人	50人
	延べ人数	55人	61人	46人	50人	49人	52人
	志願者数	55人	58人	45人	50人	49人	51人
	受験者数	54人	54人	44人	48人	46人	49人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	54人	54人	45人	49人	48人	50人
	志願者数	54人	54人	44人	49人	48人	50人
	受験者数	54人	52人	44人	47人	46人	49人
入学定員充足率	入学定員充足率	0.96	0.92	0.82	0.86	0.84	0.88
	歩留率	0.89	0.85	0.93	0.90	0.91	0.90

３．入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平 均
入 学 定 員	50人	50人	50人	50人	50人	50人
入 学 定 員 充 足 率	0.96	0.92	0.82	0.86	0.84	0.88
歩 留 率	0.89	0.85	0.93	0.90	0.91	0.90

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

①募集を行った学科等名称及び取組の名称：オープンキャンパスの開催

	R5年度入試	R6年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数 (a)	2166人	2137人	①取組概要 以下のとおりオープンキャンパスを開催し、学部学科や入学者選抜の説明、授業体験及び在学生との関わりの中で、大学での学びや学生生活を模擬的に体験する機会を設けている。両年度とも年間合計8回のオープンキャンパスを実施。 ②過去の取組実績を踏まえた組織の入学者数の見込みに関する分析 受験対象者数の約4割が出願へと繋がっていることを考え、オープンキャンパスの告知強化、コンテンツの充実を図り、魅力のあるオープンキャンパス開催に努める。当該年度における受験対象者数からの出願比率が4割であるため、オープンキャンパス参加の受験対象者数目標を1,500人とし、受験者数600人（1,500人×40%）とする。
うち受験対象者数 (b)	1212人	1262人	
うち受験者数 (c)	460人	503人	
うち入学者数 (d)	175人	246人	
(受験率 c/b)	38. 0%	39. 9%	
(入学率 d/b)	14. 4%	19. 5%	

②募集を行った学科等名称及び取組の名称：資料請求者

	R5年度入試	R6年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数 (a)	16695人	15117人	①取組概要 大学公式ホームページ、受験生応援サイト、各種SNS、および各種媒体等、様々な経路より資料請求の受付を行っている。 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 大学公式ホームページ、および受験生応援サイトの全面リニューアルや各種媒体の新設学部特集等への出稿を増やし、資料請求者20,000人超（全体）を目標とする。 また、全体の資料請求者のうち、教育学部の出願者数1,000人（20,000人×5%）を目標とし、入学者数350人（1,000人×35%）を目標とする。
うち受験対象者数 (b)	6695人	5315人	
うち受験者数 (c)	792人	793人	
うち入学者数 (d)	216人	294人	
(受験率 c/b)	0人	0人	
(入学率 d/b)	0人	0人	

③募集を行った学科等名称及び取組の名称：高校内外での進学相談会・模擬授業

	R5年度入試	R6年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数 (a)	4559人	5121人	①取組概要 高校内外での進学ガイダンスや模擬授業等を以下のとおり実施した。 令和5年度実施：406回 令和4年度実施：410回 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 当該年度における接触者からの受験比率が約2割であるため、相談会等への参加回数を増やす、また接触者数が増えるように告知等の工夫を行うなどして、接触者数からの受験対象者数1,500人を目標とし、受験者数300人（1,500人×20%）を目標とする。
うち受験対象者数 (b)	998人	1141人	
うち受験者数 (c)	221人	255人	
うち入学者数 (d)	84人	135人	
(受験率 c/b)	0人	0人	
(入学率 d/b)	0人	0人	

④募集を行った学科等名称及び取組の名称：

	R5年度入試	R6年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数 (a)			①取組概要 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 ※入学率等を用いて、本取組に関する参加者等総数の見込みから予想される入学者の人数を分析してください。
うち受験対象者数 (b)			
うち受験者数 (c)			
うち入学者数 (d)			
(受験率 c/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	
(入学率 d/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	

⑤募集を行った学科等名称及び取組の名称：

	R5年度入試	R6年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数 (a)			①取組概要 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 ※入学率等を用いて、本取組に関する参加者等総数の見込みから予想される入学者の人数を分析してください。
うち受験対象者数 (b)			
うち受験者数 (c)			
うち入学者数 (d)			
(受験率 c/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	
(入学率 d/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	

⑤募集を行った学科等名称及び取組の名称：オープンキャンパスの開催

	R5年度入試	R6年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	2166人	2137人	①取り組み概要 以下のとおりオープンキャンパスを開催し、学部学科や入学者選抜の説明、授業体験及び在学生との関わりの中で、大学での学びや学生生活を模擬的に体験する機会を設けている。両年度とも年間合計8回のオープンキャンパスを実施。※別途、課外活動特別推薦方式で受験予定の生徒は大学見学(練習会参加)あり。参加者総数には含まず。 ②過去の取組実績を踏まえた組織の入学者数の見込みに関する分析 ・R6年度入試入学者：161名（うち課外活動特別推薦方式：65名） 課外以外：96名 ・R5年度入試入学者：176名（うち課外活動特別推薦方式：51名） 課外以外：125名 課外活動特別推薦方式以外でオープンキャンパスに参加したうち、入学した割合がR6年度入試は73%、R5年度入試は80%と比較的高く、オープンキャンパスの効果が発揮されている。今後はオープンキャンパス参加者からの受験者数を200名以上を目指し、課外活動特別推薦方式以外での入学者を140名（200名×70%）、課外活動特別推薦方式での入学者を50名を目標とする。
うち受験対象者数(b)	1212人	1262人	
うち受験者数(c)	126人	84人	
うち入学者数(d)	101人	70人	
(受験率 c/b)	10.4%	6.7%	
(入学率 d/b)	8.3%	5.5%	

②募集を行った学科等名称及び取組の名称：資料請求者の獲得

	R5年度入試	R6年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	16695人	15117人	①取組概要 大学公式ホームページ、受験生応援サイト、各種SNS、および各種媒体等、様々な経路より資料請求の受付を行っている。 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 大学公式ホームページ、および受験生応援サイトの全面リニューアルや各種媒体の新設学部特集等への出稿を増やし、資料請求者20,000人超（全体）を目標とする。 また、全体の資料請求者のうち、経済情報学部の出願者数300人（20,000人×1.5%）を目標とし、入学者数180人（300人×60%）を目標とする。
うち受験対象者数(b)	6695人	5315人	
うち受験者数(c)	177人	157人	
うち入学者数(d)	104人	94人	
(受験率 c/b)	0人	0人	
(入学率 d/b)	0人	0人	

③募集を行った学科等名称及び取組の名称：高校内外での進学相談会・模擬授業

	R5年度入試	R6年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	4559人	5121人	①取組概要 高校内外での進学ガイダンスや模擬授業等を以下のとおり実施した。 令和5年度実施：406回 令和4年度実施：410回 ②過去の取組実績を踏まえた組織の入学者数の見込みに関する分析 回数としては500回以上を目標に直接高校生と接する機会を持つ。特に経済・経営系統のガイダンスや、本学が考える重点校、エリア(愛知・岐阜)には積極的に参加をする。 相談会等で接触のあった受験生の歩留まりは比較的高い(約8割)ため、接触者からの受験者数80人を目標とするため、魅力あるコンテンツ作りやわかりやすい内容とするなどに努める。
うち受験対象者数(b)	998人	1141人	
うち受験者数(c)	62人	50人	
うち入学者数(d)	46人	41人	
(受験率 c/b)	0人	0人	
(入学率 d/b)	0人	0人	

④募集を行った学科等名称及び取組の名称：

	R5年度入試	R6年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)			①取組概要 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 ※入学率等を用いて、本取組に関する参加者等総数の見込みから予想される入学者の人数を分析してください。
うち受験対象者数(b)			
うち受験者数(c)			
うち入学者数(d)			
(受験率 c/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	
(入学率 d/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	

⑤募集を行った学科等名称及び取組の名称：

	R5年度入試	R6年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)			①取組概要 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 ※入学率等を用いて、本取組に関する参加者等総数の見込みから予想される入学者の人数を分析してください。
うち受験対象者数(b)			
うち受験者数(c)			
うち入学者数(d)			
(受験率 c/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	
(入学率 d/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	